

中川村総合戦略(仮称)策定のための  
村民アンケート調査(速報値)

**【単純集計】**

平成27年8月

中 川 村

# 目 次

0. 総合戦略村民アンケート調査概要	1
(1) 調査概要	1
(2) 標本数の確認及び調査結果の信頼性	1
(3) 回収結果	4
(4) 設問一覧	5
1. 結婚・出産・子育てに関する調査（対象者：村民24歳以上60歳未満の村在住者）	6
問1 性別	6
問2 年齢	6
問3 居住地	7
問4 職業	8
問5 結婚の有無	8
問6 世帯構成	9
問7 居住期間・転入前の居住地	9
問8 転入の理由	10
問9 村の住み心地	10
問10 結婚の意向	11
問11 結婚の利点	12
問12 独身の理由	13
問13 19歳以上の子どもの数と所在地	14
問14 親のUターン意向	14
問15① 理想の子どもの数	15
問15② 現在の子どもの数	16
問15③ 今後持ちたい子どもの数	16
問15②+③ 実数+今後持ちたい子どもの数	17
問16 子どもを持つつもりのない理由	19
問17 人口減少への考え	20
問18 人口減少抑制のための取り組み施策	20
問19 結婚支援への取り組み施策	21
問20 妊娠・出産への取り組み施策	22
問21 保育サービスへの取り組み施策	22
問22 子育て支援への取り組み施策	23
問23 Uターン増進等への取り組み施策	24
問24 雇用の拡大への取り組み施策	25
問25 地域経済活性化への取り組み施策	25
2. 就職の動向や進路希望状況調査（対象者：村内外若者19歳以上～24歳未満）	26
問1 性別	26
問2 年齢	26
問3 何人兄弟の何番目	26
問4 居住地	27
問5 職業	28

問6	結婚の有無.....	29
問7	結婚の意向.....	29
問8	結婚の利点.....	30
問9	独身の理由.....	30
問10	村外居住の理由.....	31
問11	中川村にある要素.....	32
問13	Uターン意向.....	33
問14	Uターンの理由.....	34
問15	Uターン時の不安点.....	34
問16	将来就きたい仕事（未就業者）.....	35
問17	人口減少への考え.....	36
問18	人口減少抑制のための取り組み施策.....	36
問19	結婚支援への取り組み施策.....	37
問20	Uターン増進等への取り組み施策.....	38
問21	地域経済活性化への取り組み施策.....	39
3. 地域の産業の現状等に関する調査（対象者：村内企業）.....		40
問1	主要業種.....	40
問2	代表者の年齢.....	40
問3	従業員数の規模.....	40
問4	従業員のうち代表者の親族が占める割合.....	41
問5	従業員のうち中川村民が占める割合.....	41
問6	従業員のうち女性が占める割合.....	41
問7	従業員の人材過不足状況.....	42
問8	人材の確保等への対策.....	43
問9	結婚に対する支援の実施状況.....	44
問10	育児休業制度の規定の有無.....	44
問11	育児休業制度取得実績.....	44
問12	仕事と家庭の両立支援制度の導入状況.....	45
問13	仕事と家庭の両立支援制度の利用状況.....	45
問14	事業承継の予定の有無.....	46
問15	後継者の決定状況.....	46
問16	事業廃業の理由.....	46
問17	人口減少への考え.....	47
問18	人口減少による社会への影響.....	47
問19	地方創生への関心度・期待度.....	48
問20	地方創生に対する取り組み施策.....	49

## 0.総合戦略村民アンケート調査概要

### (1) 調査概要

#### (1)-1 目的

村の総合戦略を策定する際政策パッケージに沿った施策を立案するため、村が抱えるそれぞれの課題及び意向を抽出するために、下記の(1)から(4)の調査を3種類の対象者に対して実施することを目的とした。

- (1)結婚・出産・子育てに関する調査
- (2)地域の産業の現状等に関する調査
- (3)就職の動向や進路希望に関する調査
- (4)その他将来展望等に必要な調査

#### ①村民1,000名(24歳以上60歳未満の村在住者)

主に(1)(4)に関する設問(結婚・子育てに関する調査、地域活性のための方向性等)とする。

#### ②若者407名(19歳以上24歳未満の中川村を離れている人を含む)

主に(1)(3)に関する設問(雇用・仕事・就職・Uターンの意向等)とする。

#### ③村内企業115事業所

主に(2)に関する設問(事業承継の意向、人材不足への対応等)とする。

#### (1)-2 実施期間

平成27年 6月19日(発送日) ～ 7月3日(締め切り日)

配布・回収方法: 郵送による配布・回収を行った。

### (2) 標本数の確認及び調査結果の信頼性

#### ①結婚・出産・子育てに関する調査

標本数の確認は、次の公式を用いて、信頼度95.4%(信頼度係数2.000)、誤差率±5%以上となる事を確認した。

なお、公式中の母比率は、設問の内容が多岐にわたることや、選択肢が複数であることなどを考慮し、標本数が最大となる二者択一(50%)を用いることとした。

$$\text{標本数} = \frac{\text{母集団の数}}{1 + \frac{(\text{母集団の数} - 1)}{(1 - \text{母比率}) \times \text{母比率}} \times \left[ \frac{\text{誤差率}}{\text{信頼度係数}} \right]^2}$$

#### 【信頼度係数標】

信頼度(%)	68.3	90.0	95.0	95.4	99.0	99.7
信頼度係数標	1.000	1.645	1.960	2.000	2.576	3.000

標本数検討表(中川村平成27年度毎月人口異動調査による25歳から59歳人口)

母集団	標本数	信頼度	誤差率	母比率	信頼度係数
1,815	318	95.0%	5.0%	0.5	1.960
1,815	328	95.4%	5.0%	0.5	2.000
1,815	487	99.0%	5.0%	0.5	2.576

以上の計算により、今回の標本数は328名以上の回答があれば、信頼度95.4%、誤差率±5.0%となる。

本調査では、426人の回答が得られた。したがって、①結婚・出産・子育てに関する調査は95.4%以上の信頼度が得られている。

それぞれの設問における選択肢の回答割合から、母集団全体の回答割合の確からしさを推定することとなるが、その推定がどの程度信頼出来るかを統計的に見る。

ある設問に対して、当該設問への回答者数と、当該選択肢を選択した者の割合において、母集団における当該選択肢を選択する割合の誤差は以下の式で表される。

$$e = Z \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

- 上式において
- e : 絶対誤差
  - Z : 信頼度係数 (表 参照)
  - n : 当該質問への回答者数
  - P : 当該選択肢を選択した者の割合

上式によって計算した絶対誤差ごとの必要な回答者数を以下に示す。

$$e = 5.0\% \\ Z = 2$$

P (%)	20	25	30	35	40	45	50
当該設問への回答者数 (人)	256	300	336	364	384	396	400

$$e = 5.5\% \\ Z = 2$$

P (%)	20	25	30	35	40	45	50
当該設問への回答者数 (人)	212	248	278	301	317	327	331

$$e = 6.0\% \\ Z = 2$$

P (%)	20	25	30	35	40	45	50
当該設問への回答者数 (人)	178	208	233	253	267	275	278

即ち、絶対誤差を5.0%と見込んだ場合、ある設問に対して256名以上の回答が得られ、その内の20%の人がAと答えていれば、母集団(1,815名)全体においても、20%±5.0%の人がAと答えることが99.0%確かであり、また、別の設問に対して301名以上の回答が得られ、その内の35%の人がBと回答した場合、母集団においても35%±5.5%の人がBと答えることが99%確かである。

したがって、回収数426名が得られたので、ほぼ絶対誤差±5.0%以下の精度が確保できた。

## ②就職の動向や進路希望状況調査

標本数の確認は、次の公式を用いて、信頼度95.4% (信頼度係数2.000)、誤差率±10%以上となる事を確認した。

標本数検討表（中川村 19歳から24歳未満の中川村に居住経験のある住民）

母集団	標本数	信頼度	誤差率	母比率	信頼度係数
407	78	95.0%	10.0%	0.5	1.960
407	81	95.4%	10.0%	0.5	2.000
407	119	99.0%	10.0%	0.5	2.576

正式な母数が不明のため、発送者数を母数とした。

以上の計算により、今回の標本数は81名以上の回答があれば、信頼度95.4%、誤差率±10.0%となる。本調査では、88人の回答が得られた。したがって、②就職の動向や進路希望状況調査は95.4%以上の信頼度が得られている。

$$e = 10.0\%$$

$$Z = 2$$

P (%)	20	25	30	35	40	45	50
当該設問への回答者数(人)	64	75	84	91	96	99	100

調査結果の信頼性は、回収数88名が得られたので、ほぼ絶対誤差±10.0%以下の精度が確保できた。

### ③地域の産業の現状等に関する調査

標本数の確認は、次の公式を用いて、信頼度90.0%（信頼度係数1.645）、誤差率±10%以上となる事を確認した。

標本数検討表（中川村内の企業数）

母集団	標本数	信頼度	誤差率	母比率	信頼度係数
188	50	90.0%	10.0%	0.5	1.645
188	64	95.0%	10.0%	0.5	1.960
188	66	95.4%	10.0%	0.5	2.000

以上の計算により、今回の標本数は50事業所以上の回答があれば、信頼度90.0%、誤差率±10.0%となる。本調査では、61事業所の回答が得られた。したがって、③地域の産業の現状等に関する調査は90.0%以上の信頼度が得られている。

$$e = 10.0\%$$

$$Z = 1.645$$

P (%)	20	25	30	35	40	45	50
当該設問への回答者数(人)	43	51	57	62	65	67	68

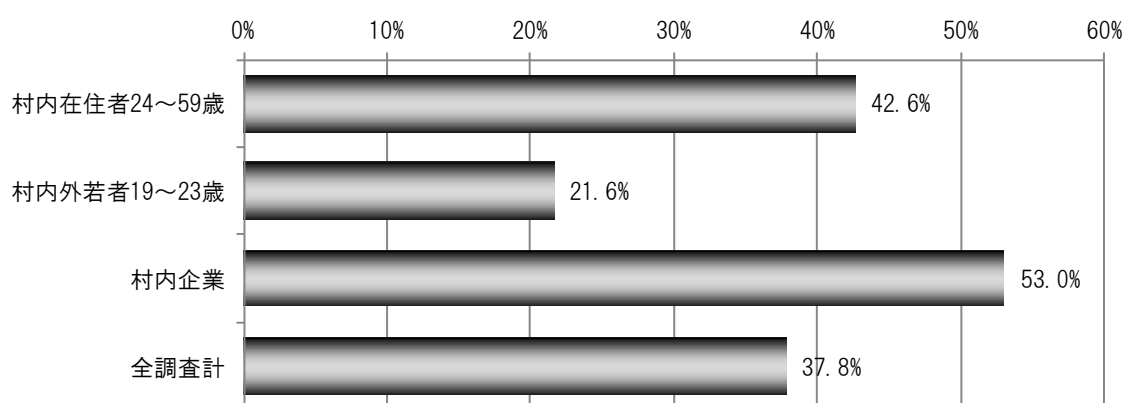
調査結果の信頼性は、回収数61事業所が得られたので、ほぼ絶対誤差±10.0%以下の精度が確保できた。

### (3) 回収結果

①結婚・出産・子育てに関する調査は42.6%、②就職の動向や進路希望状況調査は21.6%、③地域の産業の現状等に関する調査は53.0%の回収となった。村から転出している対象者が含まれる②の調査は、回収率が低い。

調査全体では、37.8%という結果となった。

調査項目：対象者		配布数	回収数	回収率
①結婚・出産・子育てに関する調査	村内在住者24～59歳	1,000	426	42.6%
②就職の動向や進路希望状況調査	村内外若者19～23歳	407	88	21.6%
③地域の産業の現状等に関する調査	村内企業	115	61	53.0%
全調査計		1,522	575	37.8%



(4) 設問一覧

調査の設問一覧は、下に示すとおりである。着色している設問は、複数の調査に共通した設問を行っている。

①結婚・出産・子育てに関する調査 (24歳以上60歳未満)	②就職の動向や進路希望状況調査 (村内外若者19歳以上24歳未満)	③地域の産業の現状等に関する調査 (村内企業)
問1 性別 問2 年齢  問3 居住地 問4 職業 問5 結婚の有無 問6 世帯構成  問7①中川村での居住期間 問7②転入前の居住地 問8 転入理由 問9 住み心地	問1 性別 問2 年齢 問3-1何人兄弟・姉妹 問3-2何番目 問4 居住地 問5 職業 問6 結婚の有無  問7 結婚の意向 問8 結婚の利点 問9 独身の理由	問1 主要業種 問2 代表者の年齢 問3 従業員数の規模 問4 従業員のうち代表者の親族が占める割合 問5 従業員のうち中川村民が占める割合 問6 従業員のうち女性が占める割合 問7①人材過不足状況(正社員) 問7②人材過不足状況(非正規社員) 問8 人材確保等への対策 問9 結婚支援に対する実施状況 問10 育児休業制度の規定の有無 問11 育児休業制度取得状況 問12 仕事と家庭の両立支援制度の導入状況 問13 仕事と家庭の両立支援制度の利用状況 問14 事業承継の予定 問15 後継者の決定状況 問16 事業廃業の理由
問10 結婚の意向 問11 結婚の利点 問12 独身の理由 問13 19歳以上の子どもの数と所在地 問14 親のUターン意向 問15①理想の子どもの数(総数) 問15①理想の子どもの数 (40歳未満独身の女性) 問15②現在の子どもの数 問15③今後持ちたい子どもの数 問15②実数+③今後持ちたい数(総数) 問15②実数+③持ちたい数 (既婚者50歳未満の男女) 問16 子どもを持つつもりのない理由 問17 人口減少への考え	問7 結婚の意向 問8 結婚の利点 問9 独身の理由  問17 人口減少への考え	問17 人口減少への考え 問18 人口減少による社会への影響
問18 人口減少抑制のための取り組み施策 問19 結婚支援への取り組み施策 問20 妊娠・出産への取り組み施策 問21 保育サービスへの取り組み施策 問22 子育て支援への取り組み施策 問23 Uターン増進等への取り組み施策 問24 雇用の拡大への取り組み施策 問25 地域経済活性化への取り組み施策 問26 中川村の紹介 記述	問18 人口減少抑制のための取り組み施策 問19 結婚支援への取り組み施策  問20 Uターン増進等への取り組み施策  問21 地域経済活性化への取り組み施策 問22 中川村の紹介 記述	
問27 中川村の欠点 記述	問10 村外居住の理由 問11 中川村にある要素 問12 中川村の欠点(記述) 問13 Uターン意向 問14 Uターンの理由 問15 Uターン時の不安点 問16 将来就きたい仕事(未就業者)	問19① 地方創生への関心度 問19② 地方創生への期待度 問20 地方創生に対する取り組み施策 問21 中川村ブランド 記述 問22 その他記述
問28 その他記述	問23 その他記述	問22 その他記述

※着色は共通設問



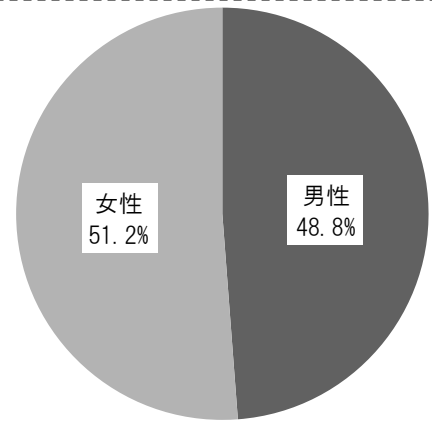
1.結婚・出産・子育てに関する調査（対象者：村民24歳以上60歳未満の村在住者）

問1 性別

【問1】 あなたの性別をお答えください。

回答者の性別は、「男性」が48.8%、「女性」が51.2%であり、女性がやや多い。

問1 性別	実数(人)	構成比
男性	203	48.8%
女性	213	51.2%
無回答	10	
計	416	100%

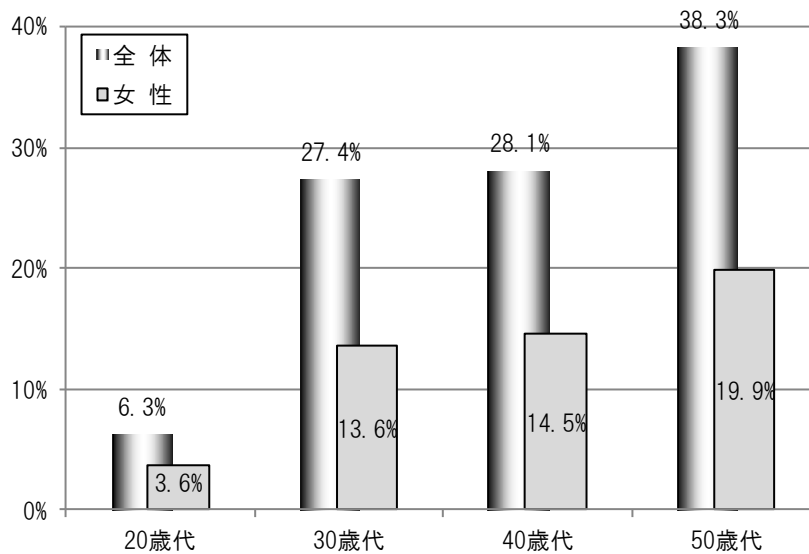


問2 年齢

【問2】 あなたの年齢をお答えください。

回答者の年齢は、「50歳代」が38.3%と最も多く、次いで「40歳代」28.1%、「30歳代」27.4%と年齢の高い順となっている。年代別における女性割合は、どの年代も概ね半数を占める割合となっている。

問2 年齢	実数(人)	構成比	女性実数(人)	女性構成比
20歳代	26	6.3%	15	3.6%
30歳代	113	27.4%	56	13.6%
40歳代	116	28.1%	60	14.5%
50歳代	158	38.3%	82	19.9%
無回答	13		0	
計	413	100%	213	51.6%



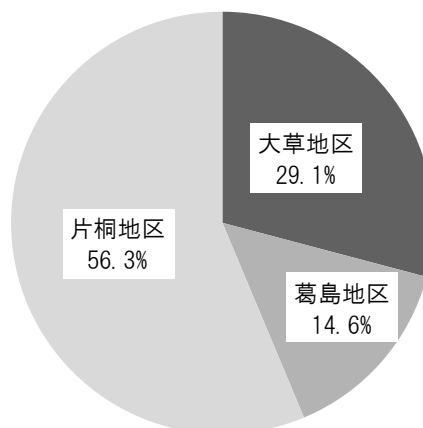
### 問3 居住地

#### 【問3】 あなたの居住地はどちらですか。

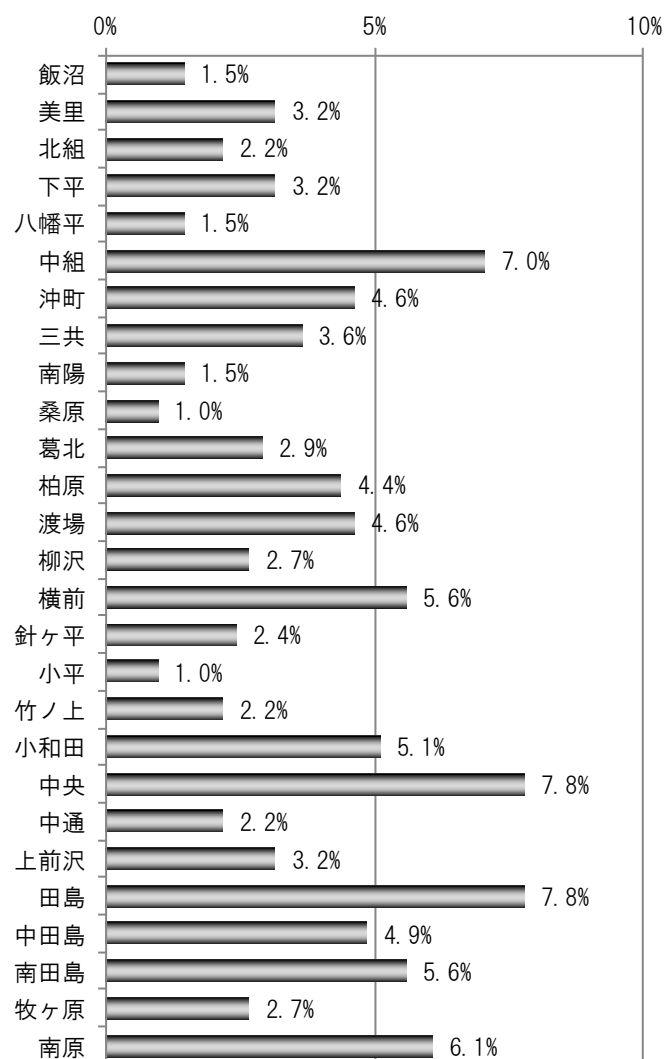
居住地は「中央」「田島」が7.8%と最も多く、次いで「中組」「南原」となっている。反対に「飯沼」「八幡平」「南陽」「桑原」「小平」は1%台と少ない。

大字別に集計すると、「片桐地区」56.3%、「大草地区」29.1%、「葛島地区」14.6%となる。

問3	実数(人)	構成比
大草地区	120	29.1%
葛島地区	60	14.6%
片桐地区	232	56.3%
無回答	14	
合計	412	100.0%



問3 居住地	実数(人)	構成比
飯沼	6	1.5%
美里	13	3.2%
北組	9	2.2%
下平	13	3.2%
八幡平	6	1.5%
中組	29	7.0%
沖町	19	4.6%
三共	15	3.6%
南陽	6	1.5%
桑原	4	1.0%
葛北	12	2.9%
柏原	18	4.4%
渡場	19	4.6%
柳沢	11	2.7%
横前	23	5.6%
針ヶ平	10	2.4%
小平	4	1.0%
竹ノ上	9	2.2%
小和田	21	5.1%
中央	32	7.8%
中通	9	2.2%
上前沢	13	3.2%
田島	32	7.8%
中田島	20	4.9%
南田島	23	5.6%
牧ヶ原	11	2.7%
南原	25	6.1%
無回答	14	
計	412	100%

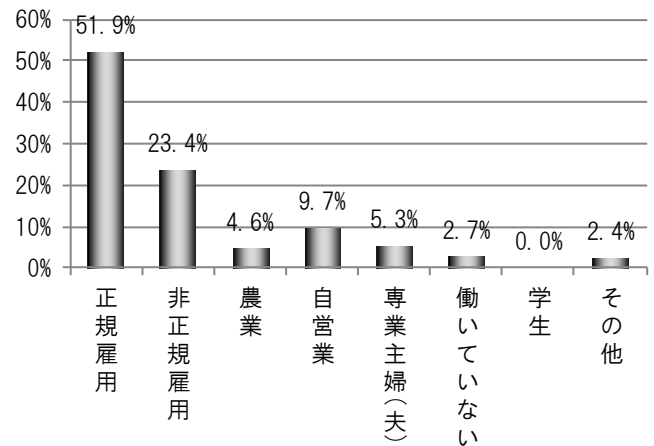


#### 問4 職業

【問4】あなたの職業は何ですか。

職業は、「正規雇用」が51.9%と多くを占めており、次いで「非正規雇用」23.4%、「自営業」9.7%の順となっている。

問4 職業	実数(人)	構成比
正規雇用	215	51.9%
非正規雇用	97	23.4%
農業	19	4.6%
自営業	40	9.7%
専業主婦(夫)	22	5.3%
働いていない	11	2.7%
学生	0	0.0%
その他	10	2.4%
無回答	12	
計	414	100%

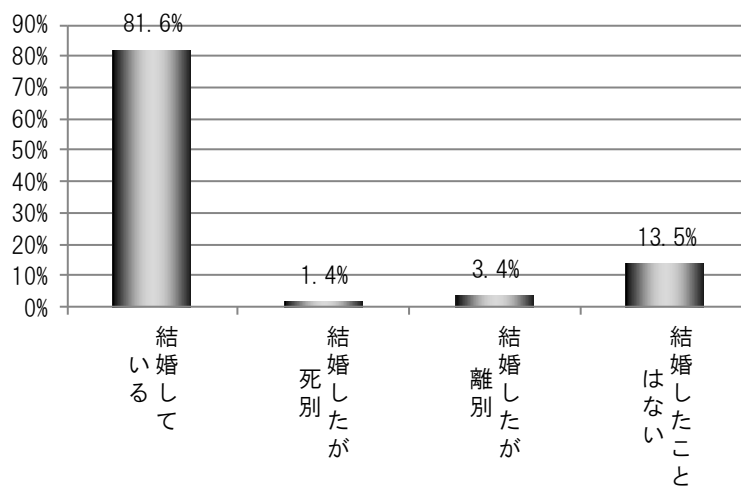


#### 問5 結婚の有無

【問5】あなたは現在結婚されていますか。

既婚者は81.6%、現在独身者は18.4%である。40歳未満の独身女性は27.1%を占めている。

問5 結婚の有無	総数		40歳未満女性	
	実数(人)	構成比	うち女性(人)	構成比
結婚している	338	81.6%	51	72.9%
結婚したが死別	6	1.4%	0	0.0%
結婚したが離別	14	3.4%	2	2.9%
結婚したことはない	56	13.5%	17	24.3%
無回答	12			
計	414	100%	70	100.0%

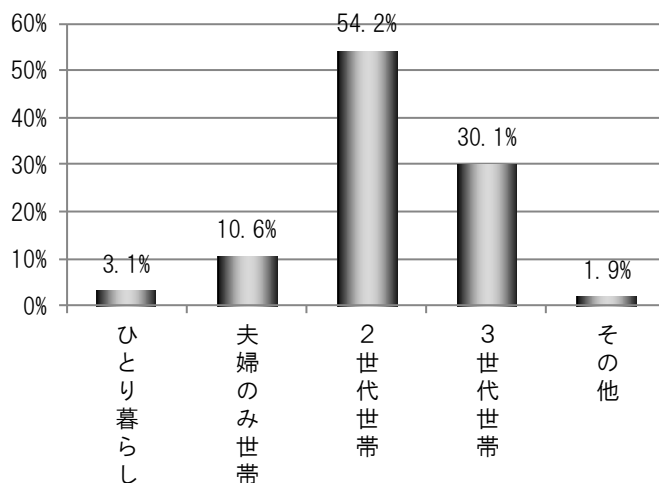


## 問6 世帯構成

【問6】世帯構成をお答えください。

世帯構成は、「2世代世帯」が54.2%と半数以上を占めており、次いで「3世代世帯」30.1%、「夫婦のみ世帯」10.6%となっている。

問6 世帯構成	実数(人)	構成比
ひとり暮らし	13	3.1%
夫婦のみ世帯	44	10.6%
2世代世帯	225	54.2%
3世代世帯	125	30.1%
その他	8	1.9%
無回答	11	
計	415	100%

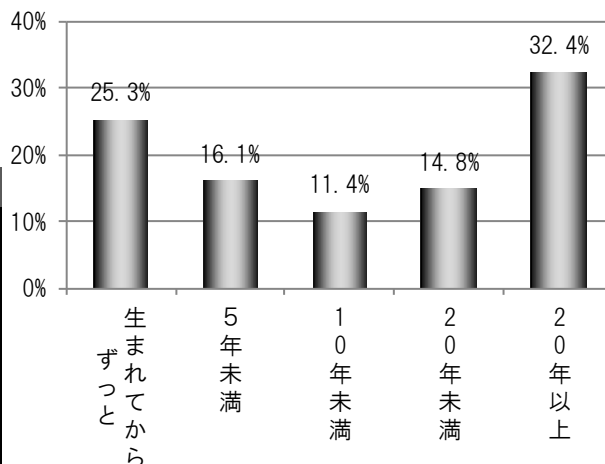


## 問7 居住期間・転入前の居住地

【問7】あなたは中川村に何年位お住まいですか。進学や就職等で一時転出していた時期がある方は、中川村へ戻ってきてからの期間でお答えください。また、中川村へ転入される前の居住地はどちらでしたか。

村への居住期間は、「20年以上」が32.4%と最も多く、次いで「生まれてからずっと中川村に住んでいる」が25.3%となっている。

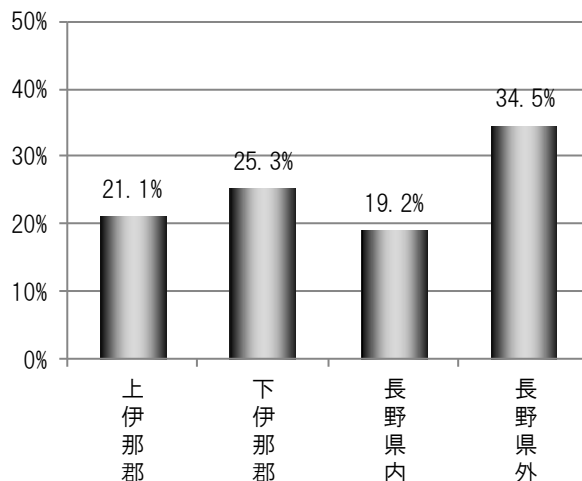
問7-①中川村での居住期間	実数(人)	構成比
生まれてからずっと中川村に住んでいる	104	25.3%
5年未満	66	16.1%
5年以上10年未満	47	11.4%
10年以上20年未満	61	14.8%
20年以上	133	32.4%
無回答	15	
計	411	100%



転入前の居住地は、「長野県外」が34.5%と最も多く、次いで「下伊那郡」25.3%となっている。

「長野県外」の主な転入前居住地は、東京都、愛知県、神奈川県が多い。

問7-②転入前の居住地	実数(人)	構成比
中川村以外の上伊那郡	55	21.1%
下伊那郡	66	25.3%
上下伊那以外の長野県内	50	19.2%
長野県外	90	34.5%
計	261	100%

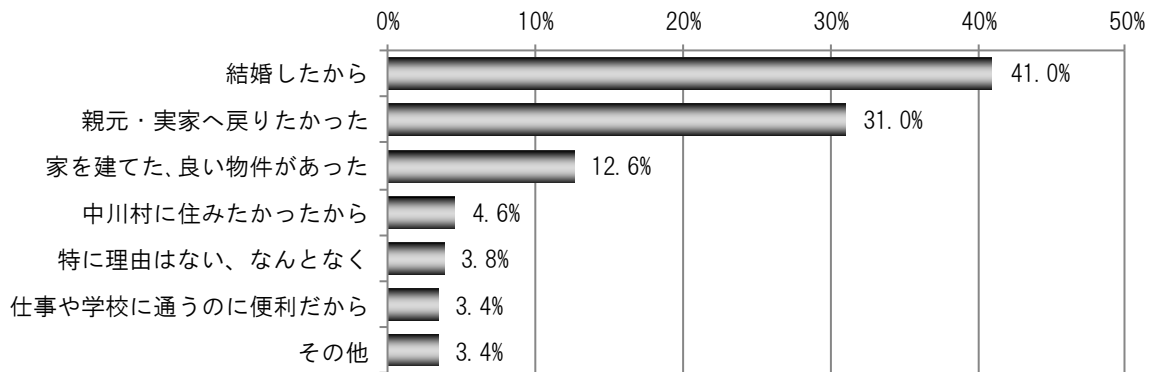


## 問8 転入の理由

【問8】問7で「1.生まれてからずっと中川村に住んでいる」と答えた人以外の方だけお答えください。中川村へ転入されてきた理由は何ですか。当てはまる番号に1つだけ○印をつけてください。家族の理由で転入された場合は、その理由についてお答えください。

中川村へ転入した理由は、「結婚したから」が41.0%と最も多く、次いで「親元・実家（の近く）へ戻りたかったから、戻らなければならなかったから」が31.0%となっている。

問8 転入理由	実数(人)	構成比
結婚したから	107	41.0%
親元・実家(の近く)へ戻りたかったから、戻らなければならなかったから	81	31.0%
中川村に家を建てた、中川村に良い物件(土地・家・アパート等)があったから	33	12.6%
中川村に住みたかったから	12	4.6%
特に理由はない、なんとなく	10	3.8%
仕事や学校に通うのに便利だから、仕事をする上で便利だから	9	3.4%
その他	9	3.4%
無回答	46	
計	261	100%

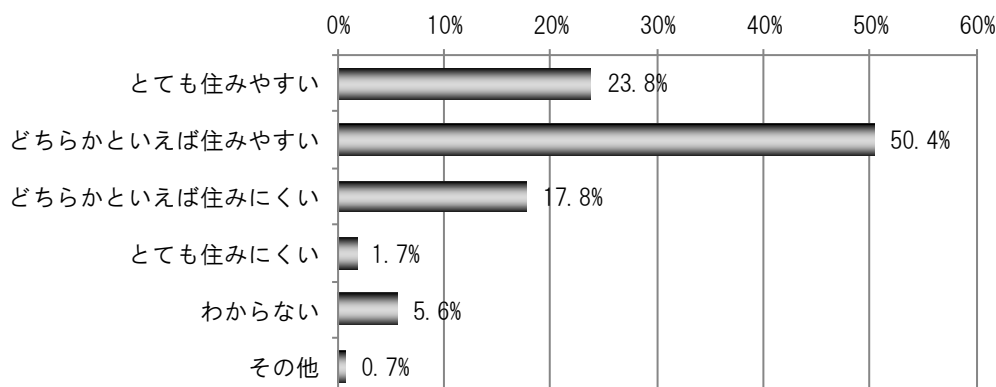


## 問9 村の住み心地

【問9】全員お答えください。中川村の住み心地はいかがですか。当てはまる番号に1つだけ○印をつけて、理由もお書きください。

中川村の住み心地は、「どちらかといえば住みやすい」が50.4%と半数を超えた。次いで「とても住みやすい」が23.8%となっており、「住みやすい」「住みにくい」で分類すると「住みやすい」が74.2%を占めている。「住みやすい」理由として「自然環境の良さ」や「静か」などの回答が多い。反対に「住みにくい」理由としては「交通の便の悪さ」「仕事の少なさ」などの回答が見られる。

問9 住み心地	実数(人)	構成比
とても住みやすい	98	23.8%
どちらかといえば住みやすい	207	50.4%
どちらかといえば住みにくい	73	17.8%
とても住みにくい	7	1.7%
わからない	23	5.6%
その他	3	0.7%
無回答	15	
計	411	100%



## 問10 結婚の意向

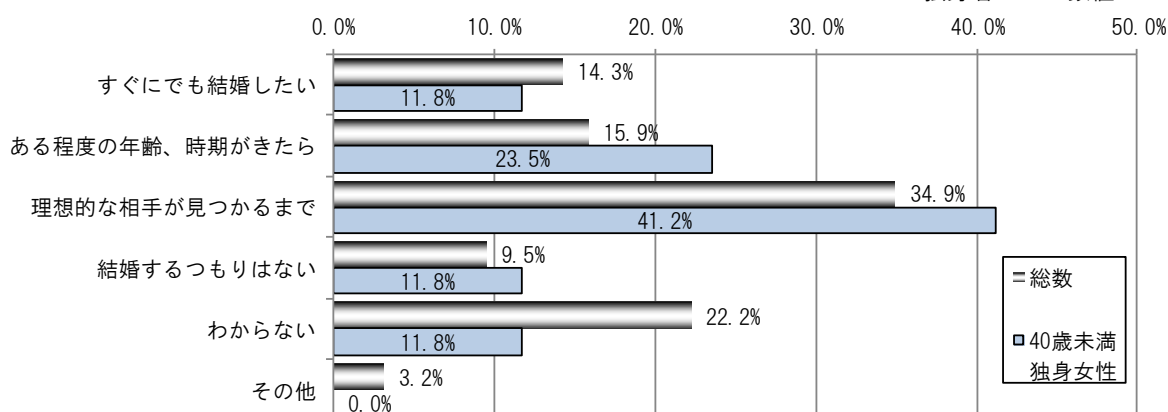
【問10】ご自身の結婚について考えた場合、当てはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

独身者全員の結婚に対する意向については、「理想的な相手、好きな相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない」が34.9%と最も多く、次いで「わからない」が22.2%、「ある程度の年齢、時期がきたら結婚するつもりである」が15.9%となっている。「すぐにでも結婚したい」及び「ある程度の年齢、時期がきたら結婚するつもりである」「理想的な相手、好きな相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない」の結婚の意思がある回答は65.1%に留まっている。

40歳未満の独身女性では、「理想的な相手、好きな相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない」が41.2%と多くを占めており、次いで「ある程度の年齢、時期がきたら結婚するつもりである」が23.5%となっている。結婚の意思がある回答は合わせて76.5%となった。

問10結婚の意向	総数		40歳未満独身女性	
	実数(人)	構成比	実数(人)	構成比
すぐにでも結婚したい	9	14.3%	2	11.8%
ある程度の年齢、時期がきたら結婚するつもりである	10	15.9%	4	23.5%
理想的な相手、好きな相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない	22	34.9%	7	41.2%
結婚するつもりはない	6	9.5%	2	11.8%
わからない	14	22.2%	2	11.8%
その他	2	3.2%	0	0.0%
無回答	13		2	
計	63	100%	17	100%

独身者のみの数値



## 問11 結婚の利点

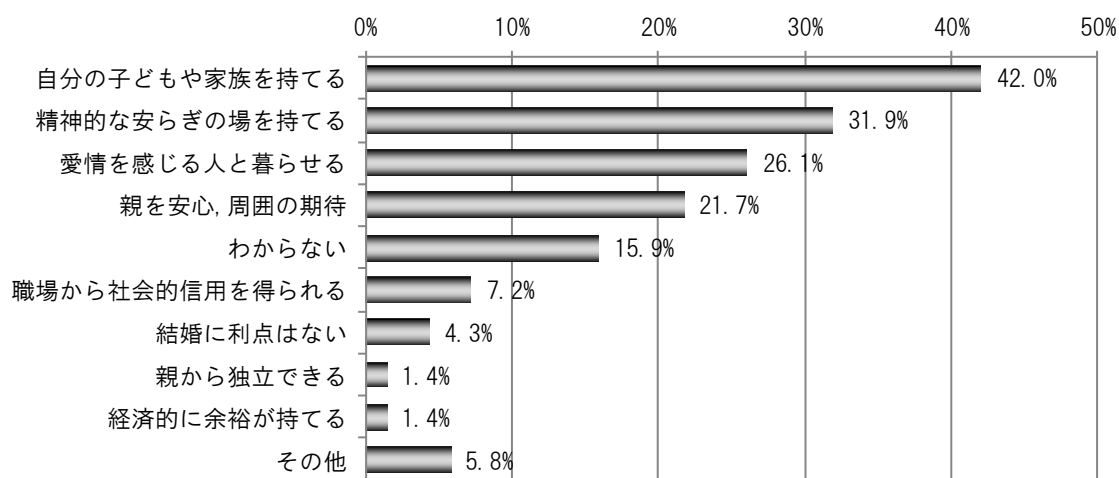
【問11】結婚の利点について考えた場合、当てはまる番号に2つまで○印をつけてください。

結婚の利点として、「自分の子どもや家族を持てる」が42.0%と最も多く、次いで「精神的な安らぎの場を持てる」「愛情を感じる人と暮らせる」「親を安心させたり周囲の期待に応えたりすることができる」が順に31.9%、26.1%、21.7%となっている。

「結婚に利点はない」との回答は4.3%に留まっている。

問11結婚の利点	実数(人)	構成比
自分の子どもや家族を持てる	29	42.0%
精神的な安らぎの場を持てる	22	31.9%
愛情を感じる人と暮らせる	18	26.1%
親を安心させたり周囲の期待に応えたりすることができる	15	21.7%
わからない	11	15.9%
職場や周囲から社会的信用を得られる	5	7.2%
結婚に利点はない	3	4.3%
親から独立できる	1	1.4%
経済的に余裕が持てる	1	1.4%
その他	4	5.8%
有効回答数	69	

独身者のみの数値



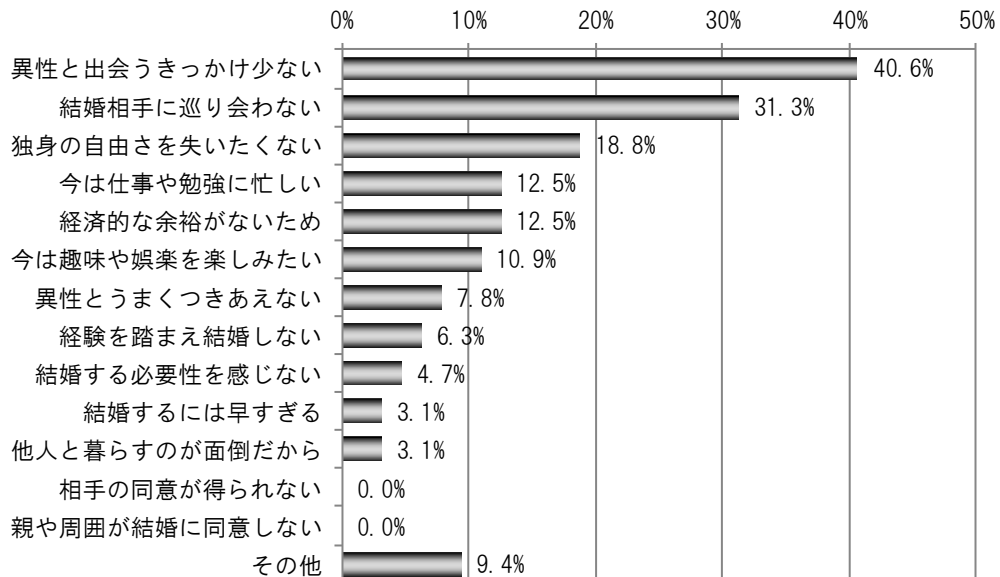
## 問12 独身の理由

【問12】現在、あなたが独身でいる理由は何ですか。当てはまる番号に2つまで○印をつけてください。

独身でいる理由として、「異性と出会うきっかけが少ない」が40.6%と最も多く、次いで「結婚を意識する相手にまだ巡り会わない」が31.3%、「独身の自由さ気楽さを失いたくない」が18.8%となっている。「結婚する必要性を感じない」は4.7%に留まっている。

問12独身の理由	実数(人)	構成比
異性と出会うきっかけが少ない	26	40.6%
結婚を意識する相手にまだ巡り会わない	20	31.3%
独身の自由さ気楽さを失いたくない	12	18.8%
今は仕事や勉強に忙しい	8	12.5%
経済的な余裕がないため結婚できない	8	12.5%
今は趣味や娯楽を楽しみたい	7	10.9%
異性とうまくつきあえない	5	7.8%
以前結婚していた経験を踏まえ、結婚しない	4	6.3%
結婚する必要性を感じない	3	4.7%
結婚するには早すぎる	2	3.1%
他人と暮らすのが面倒だから	2	3.1%
結婚に対して相手の同意が得られない	0	0.0%
親や周囲が結婚に同意しない	0	0.0%
その他	6	9.4%
有効回答数	64	

独身者のみの数値



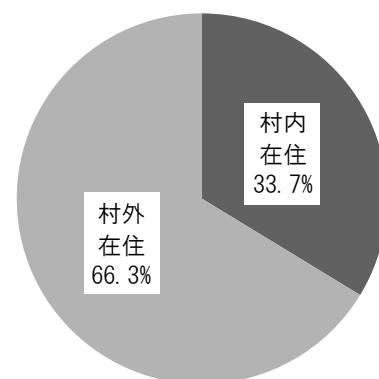


### 問13 19歳以上の子どもの数と所在地

【問13】あなたの子どもについて、19歳以上の子どもは何人いますか。その子どもは現在どちらにお住まいですか。

19歳以上の子ども（成人した子どもを含む）が、どこに居住しているのかの問いには、「村内に在住（同居含む）」は39.7%、「村外に在住」は60.3%と「村外に在住」が多い。

子どもの数に換算すると66.3%（236人）が村外に在住していることになる。



村内外居住地別子どもの数の割合

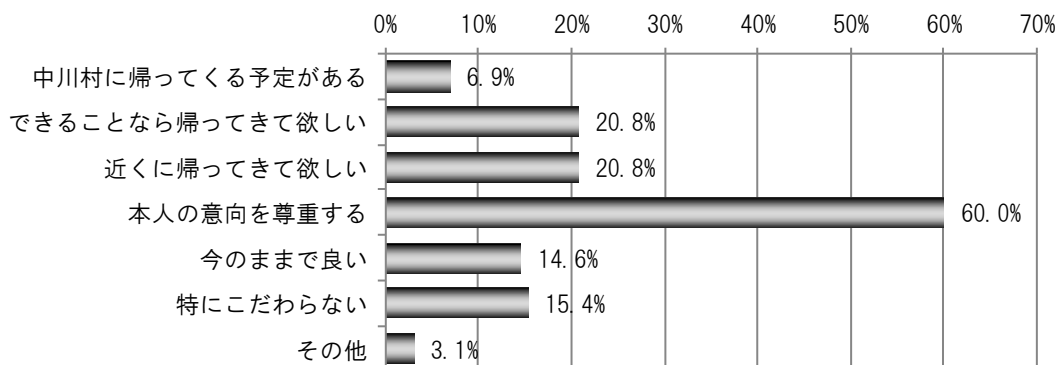
問13 19歳以上の子どもの数	実数(人)	構成比	子どもの数	構成比
村内に在住(同居含む)	92	39.7%	120	33.7%
村外に在住	140	60.3%	236	66.3%
計	232	100%	356	100%

### 問14 親のUターン意向

【問14】あなたの子どもが中川村外に住んでいる方だけお答えください。将来、中川村に帰ってきて欲しいという意向はありますか。当てはまる番号すべてに○印をつけてください。（結婚された子どもも含めてください。）

問13において、「村外に子どもが在住している」と回答した親の意向では、「本人の意向を尊重する」が60.0%と圧倒的に高い。次いで「できることなら中川村に帰ってきて欲しい」「村内でなくても近くに帰ってきて欲しい」がともに20.8%となっており、双方を合わせると41.5%となる。

問14親のUターン意向	実数(人)	構成比
中川村に帰ってくる予定がある	9	6.9%
できることなら中川村に帰ってきて欲しい	27	20.8%
村内でなくても近くに帰ってきて欲しい	27	20.8%
本人の意向を尊重する	78	60.0%
すでに生活の基盤が他の地でできているため、今のままで良い	19	14.6%
特にこだわらない	20	15.4%
その他	4	3.1%
有効回答数	130	



## 問15① 理想の子どもの数

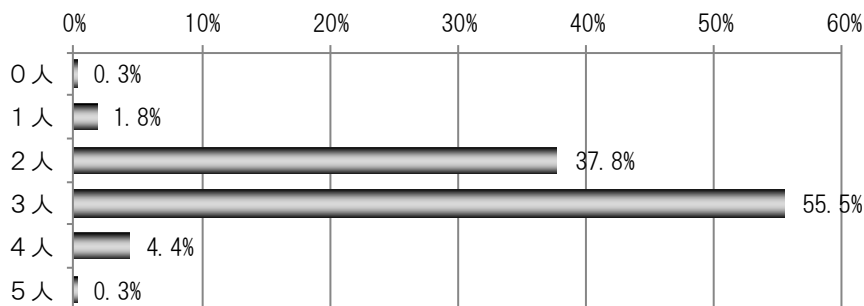
**【問15①】** 実際に持つかどうかは別にして、あなたにとって理想の子どもの人数は何人と考えますか。

理想の子どもの人数は「3人」が55.5%、「2人」が37.8%とほとんどを占めている。回答者の一人当たりの理想の子どもの数は2.63人となる。

また、回答者のうち「結婚の意思のある40歳未満の女性」について抽出すると、理想の子どもの人数は「3人」が52.6%、「2人」が47.4%となり、一人当たりの理想の子どもの数は2.53人となる。

問15①理想の子どもの数(総数)	実数(人)	構成比	子どもの数換算	構成比
0人	1	0.3%	0	0.0%
1人	7	1.8%	7	0.7%
2人	147	37.8%	294	28.8%
3人	216	55.5%	648	63.4%
4人	17	4.4%	68	6.7%
5人	1	0.3%	5	0.5%
無回答	37			
計	389	100%	1,022	100%
一人当たり理想子ども数			2.63	

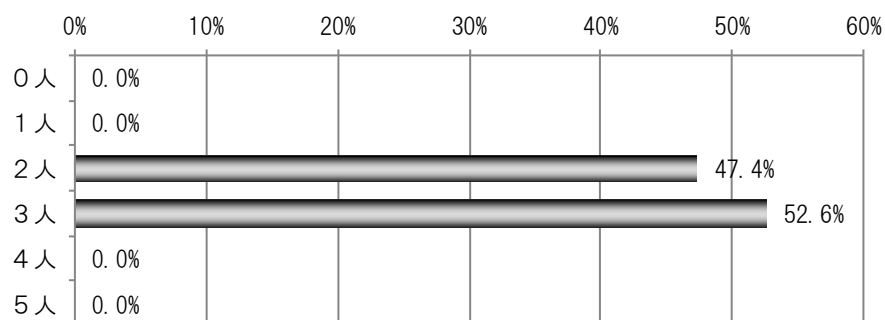
理想の子どもの数/回答者数



<40歳未満独身の女性の場合(結婚希望1~3)>

問15①理想の子どもの数	実数(人)	構成比	子どもの数換算	構成比
0人	0	0.0%	0	0.0%
1人	0	0.0%	0	0.0%
2人	9	47.4%	18	37.5%
3人	10	52.6%	30	62.5%
4人	0	0.0%	0	0.0%
5人	0	0.0%	0	0.0%
計	19	100%	48	100%
一人当たり理想子ども数			2.53	

理想の子どもの数/回答者数

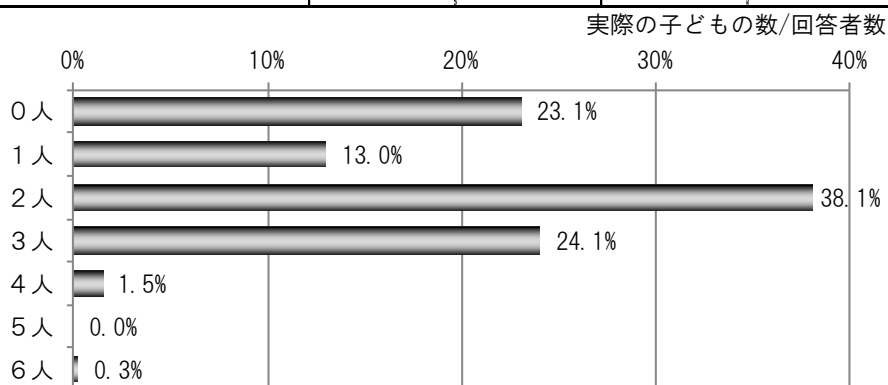


### 問15② 現在の子どもの数

【問15②】現在、何人のお子様をお持ちですか。（成人した子どもを含みます。）

現在の子どもの数は「2人」が38.1%であり、次いで「3人」24.1%、「0人」23.1%の順になっている。  
一人当たりの子どもの数は1.69人となる。

問15 ②実子どもの数	実数(人)	構成比	子どもの数換算	構成比
0人	92	23.1%	0	0.0%
1人	52	13.0%	52	7.7%
2人	152	38.1%	304	45.1%
3人	96	24.1%	288	42.7%
4人	6	1.5%	24	3.6%
5人	0	0.0%	0	0.0%
6人	1	0.3%	6	0.9%
無回答	27			
計	399	100%	674	100%
一人当たり実子ども数			1.69	



### 問15③ 今後持ちたい子どもの数

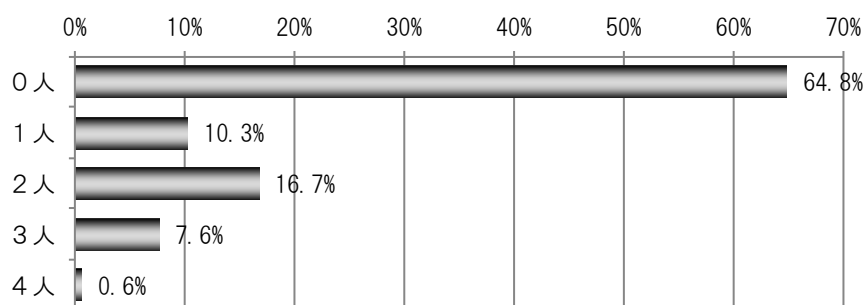
【問15③】これから何人子どもを持ちたいとお考えですか。子どもを持つつもりのない方は「0」とご記入ください。

これから子どもを持つつもりのない「0人」の回答が64.8%と最も多く、次いで「2人」16.7%「1人」10.3%となっている。一人当たりの今後持ちたい子どもの数は0.69人となる。

最も回答が多かった「0人」と回答した人の年齢構成を見ると、「50歳代」が45.2%と最も多く、年齢層が低くなるにつれて少なくなっている。

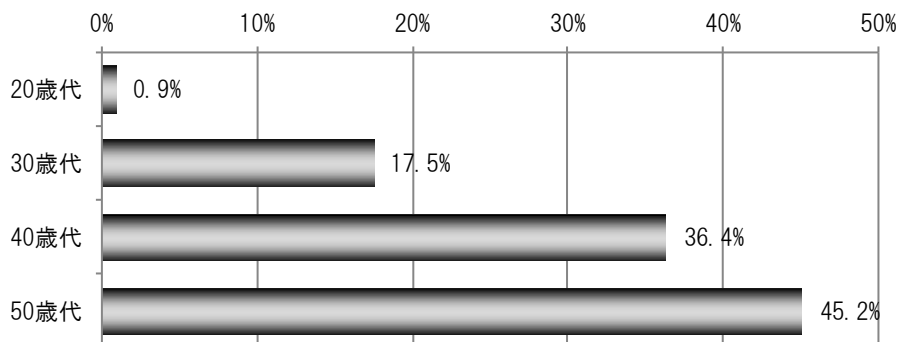
問15 ③持ちたい子どもの数	実数(人)	構成比	子どもの数換算	構成比
0人	221	64.8%	0	0.0%
1人	35	10.3%	35	14.9%
2人	57	16.7%	114	48.5%
3人	26	7.6%	78	33.2%
4人	2	0.6%	8	3.4%
無回答	85			
計	341	100%	235	100%
一人当たり持ちたい子ども数			0.69	

今後持ちたい子どもの数/回答者数



〈持ちたい子どもの数を「0人」と回答した人〉

年齢層でクロス	実数(人)	構成比
20歳代	2	0.9%
30歳代	38	17.5%
40歳代	79	36.4%
50歳代	98	45.2%
無回答	4	
計	217	100%



持ちたい子どもの数を0人と回答した人の年代別構成比

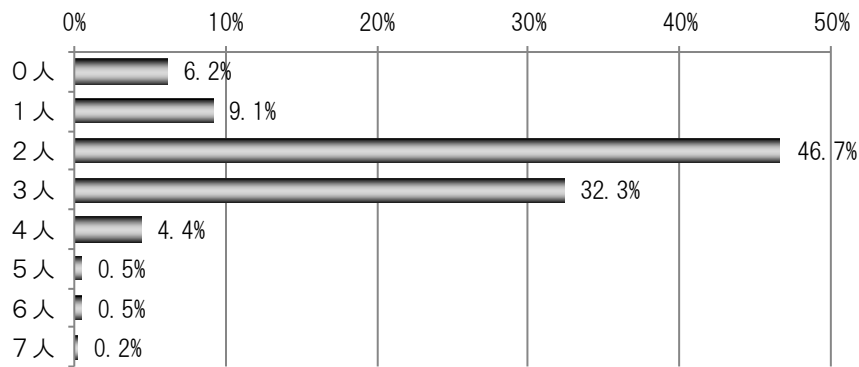
### 問15②+③ 実数+今後持ちたい子どもの数

「現在の子どもの数」と「今後持ちたい子どもの数」の和では、「2人」46.7%、「3人」32.3%の回答が多い。「4人」以上の回答も見られる。

一人当たりの「現在の子どもの数」+「今後持ちたい子どもの数」は2.24人となり、理想の子どもの数2.63人を0.39人下回る。また、「50歳未満の既婚者」では、「2人」が45.3%と多くの回答があり、一人当たりの「現在の子どもの数」+「今後持ちたい子どもの数」は2.33人となった。

問15②実数+③持ちたい数	実数(人)	構成比	子どもの数換算	構成比
0人	25	6.2%		
1人	37	9.1%	37	4.1%
2人	189	46.7%	378	41.6%
3人	131	32.3%	393	43.2%
4人	18	4.4%	72	7.9%
5人	2	0.5%	10	1.1%
6人	2	0.5%	12	1.3%
7人	1	0.2%	7	0.8%
無回答	21			
計	405	100%	909	100%
一人当たり②+③子ども数			2.24	

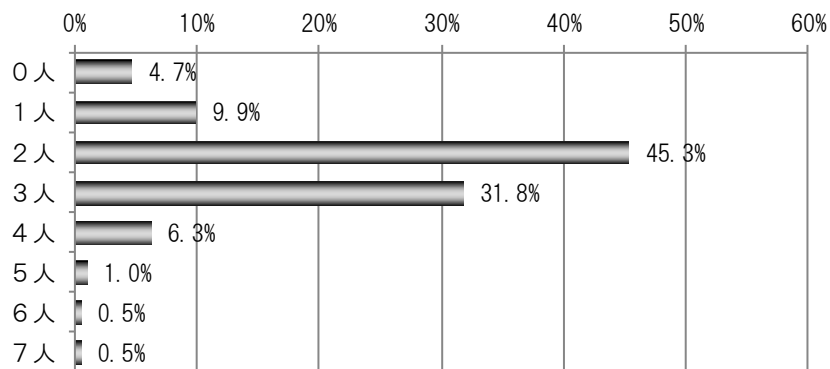
実数+今後持ちたい子どもの数/回答者数



<50歳未満の男女(既婚者のみ)>

問15②実数+③持ちたい数	実数(人)	構成比	子どもの数換算	構成比
0人	9	4.7%		
1人	19	9.9%	19	4.3%
2人	87	45.3%	174	38.9%
3人	61	31.8%	183	40.9%
4人	12	6.3%	48	10.7%
5人	2	1.0%	10	2.2%
6人	1	0.5%	6	1.3%
7人	1	0.5%	7	1.6%
無回答	6			
計	192	100%	447	100%
一人当たり②+③子ども数			2.33	

実数+今後持ちたい子どもの数/回答者数

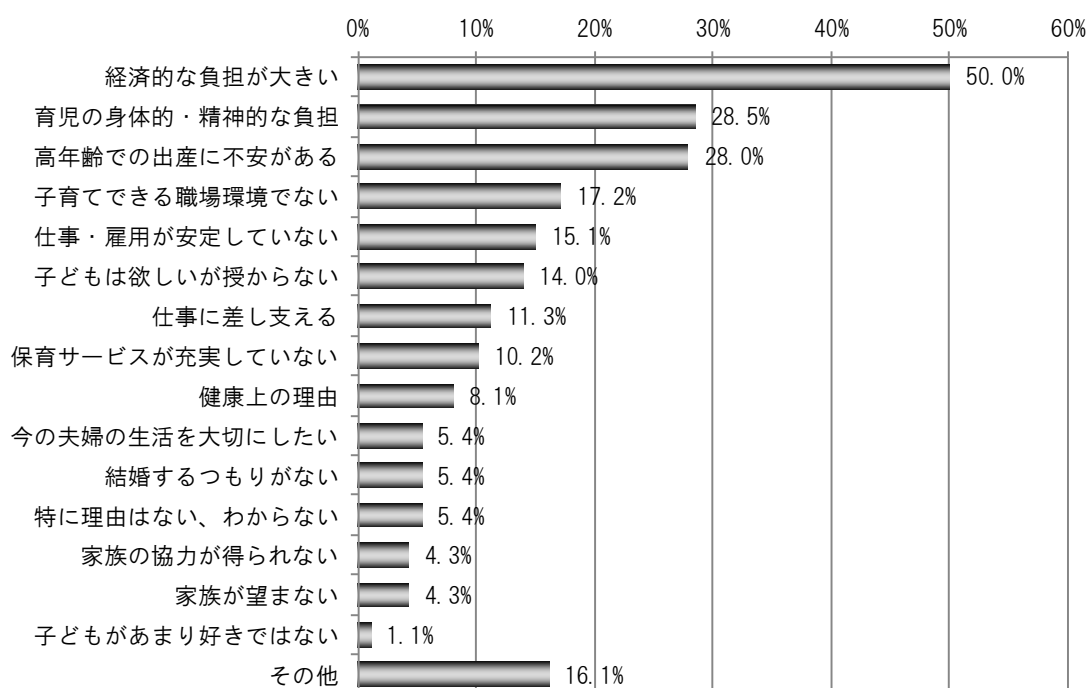


## 問16 子どもを持つつもりがない理由

【問16】子どもを持つつもりがない方や、問15で理想の子どもの人数より持ちたい子どもの人数が少ない方にお聞きます。子どもを持つつもりがない理由や理想の人数より少ない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

子どもを持つつもりがない理由として、「子育てや教育には経済的な負担が大きい」が50.0%と最も多く、次いで「育児の身体的・精神的な負担が大きい」「高年齢での出産に不安がある」が順に28.5%、28.0%となっている。

問16子どもを持つつもりがない理由	実数(人)	構成比
子育てや教育には経済的な負担が大きい	93	50.0%
育児の身体的・精神的な負担が大きい	53	28.5%
高年齢での出産に不安がある	52	28.0%
働きながら子育てできる職場環境でない	32	17.2%
仕事・雇用が安定していない	28	15.1%
子どもは欲しいが授からない	26	14.0%
仕事に差し支える	21	11.3%
保育サービスが充実していない	19	10.2%
健康上の理由	15	8.1%
今の自分や夫婦の生活を大切にしたい	10	5.4%
結婚するつもりがない	10	5.4%
特に理由はない、わからない	10	5.4%
家事や育児に対して家族の協力が得られない	8	4.3%
家族が望まない	8	4.3%
子どもがあまり好きではない	2	1.1%
その他	30	16.1%
有効回答数	186	



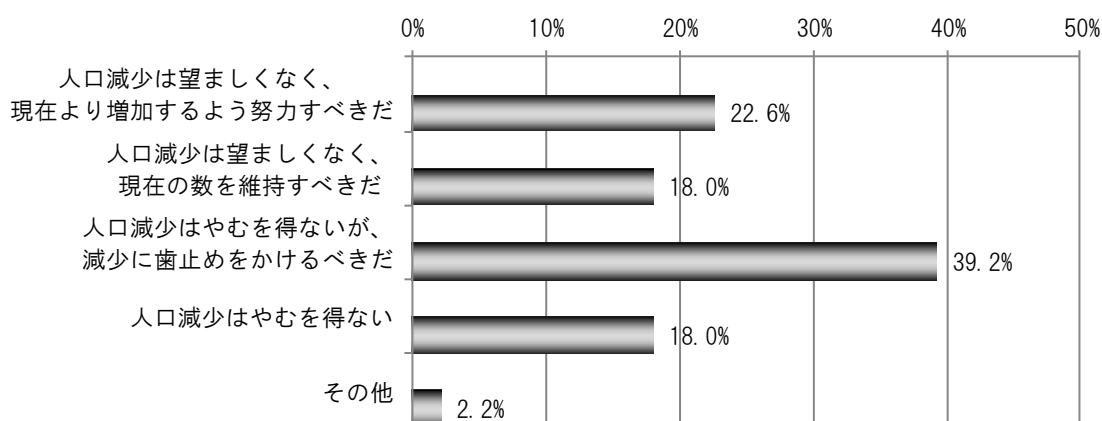
## 問17 人口減少への考え

【問17】中川村の人口は現在約5,000人ですが、平成52年(2040年:25年後)には約3,700人に減少すると公表されています(国立社会保障・人口問題研究所の推計)。中川村の人口が急激に減少していくことについて、あなたの考えに最も近い番号に1つだけ○印をつけてください。

人口減少の考えは、「人口減少はやむを得ないが、減少に歯止めをかけるべきだ」が39.2%と最も多く、次いで、「人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだ」が22.6%となっている。

「人口減少はやむを得ない」との考えがやや高い結果となった。

問17人口減少への考え	実数(人)	構成比
人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだ	94	22.6%
人口減少は望ましくなく、現在の数を維持すべきだ	75	18.0%
人口減少はやむを得ないが、減少に歯止めをかけるべきだ	163	39.2%
人口減少はやむを得ない	75	18.0%
その他	9	2.2%
無回答	10	
計	416	100%

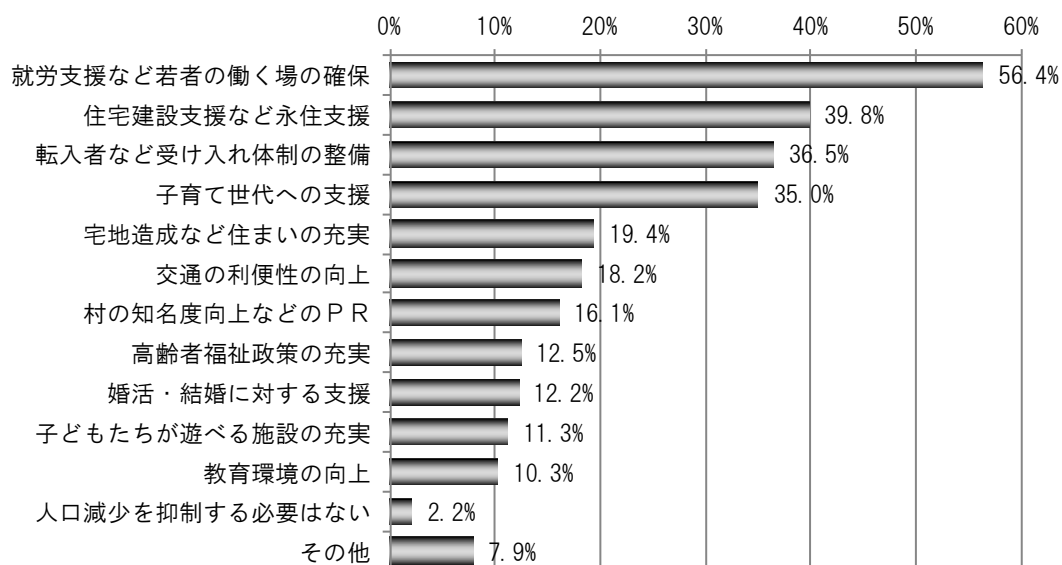


## 問18 人口減少抑制のための取り組み施策

【問18】人口の減少を抑制するために力を入れるべき施策は何ですか。当てはまる番号に3つまで○印をつけてください。

人口減少抑制のための取り組み施策として「企業誘致や就労支援など若者の働く場の確保」が56.4%と最も多く、次いで「住宅建設への支援など永住に対する支援」39.8%、「転入者への住まいの提供や就職相談など受け入れ体制の整備」36.5%、「出産祝い金や保育所サービスの充実など子育て世代への支援」35.0%が高い値を示している。

問18人口減少抑制のための施策	実数(人)	構成比
企業誘致や就労支援など若者の働く場の確保	235	56.4%
住宅建設への支援など永住に対する支援	166	39.8%
転入者への住まいの提供や就職相談など受け入れ体制の整備	152	36.5%
出産祝い金や保育所サービスの充実など子育て世代への支援	146	35.0%
公営住宅の建設や宅地造成など住まいの充実	81	19.4%
JR飯田線のダイヤ改善や幹線道路の整備など交通の利便性の向上	76	18.2%
村の知名度向上などイメージアップのためのPR	67	16.1%
高齢者福祉政策の充実	52	12.5%
結婚相談や出会いの場の提供など婚活・結婚に対する支援	51	12.2%
公園の整備など子どもたちが遊べる施設の充実	47	11.3%
学校教育の充実など教育環境の向上	43	10.3%
人口減少を抑制する必要はない	9	2.2%
その他	33	7.9%
有効回答数	417	

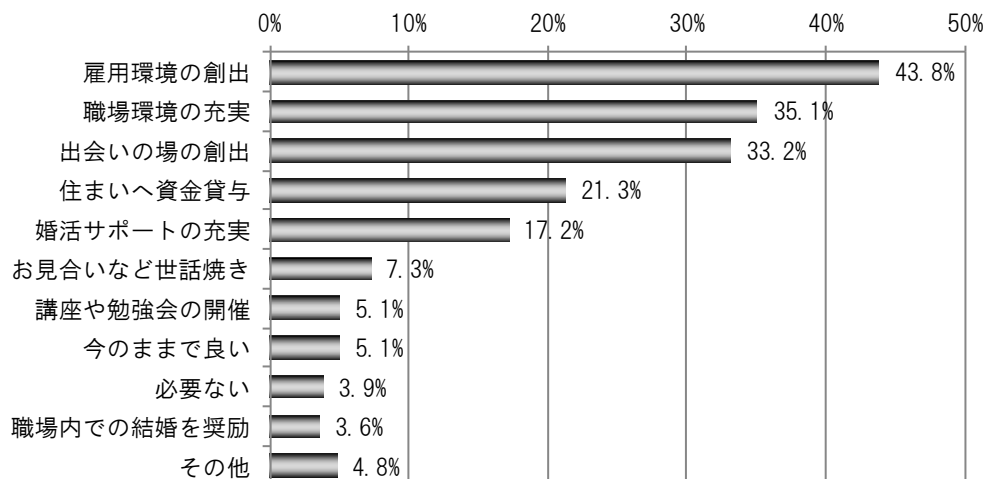


### 問19 結婚支援への取り組み施策

【問19】地域・企業・村が力を入れるべき結婚を支援する取り組みとして、何が重要だと思いますか。当てはまる番号に2つまで○印をつけてください。

結婚支援の取り組みとして「経済的に安定した雇用環境の創出」43.8%が最も多く、次いで「夫婦がともに働き続けることができる職場環境の充実」35.1%、「結婚につながる出会いの場の創出（イベントやパーティー）」33.2%が高い値を示している。

問19結婚支援のための取り組み施策	実数(人)	構成比
経済的に安定した雇用環境の創出	181	43.8%
夫婦がともに働き続けることができる職場環境の充実	145	35.1%
結婚につながる出会いの場の創出(イベントやパーティー)	137	33.2%
結婚や住まいに対して資金貸与や補助を行う	88	21.3%
結婚相談など婚活サポートの充実	71	17.2%
お見合いなど周りの人が世話を焼いて紹介する仕組みづくり	30	7.3%
コミュニケーションやファッション等の講座や勉強会の開催	21	5.1%
今のままで良い	21	5.1%
必要ない	16	3.9%
職場内での結婚を奨励する取り組みや雰囲気づくり	15	3.6%
その他	20	4.8%
有効回答数	413	



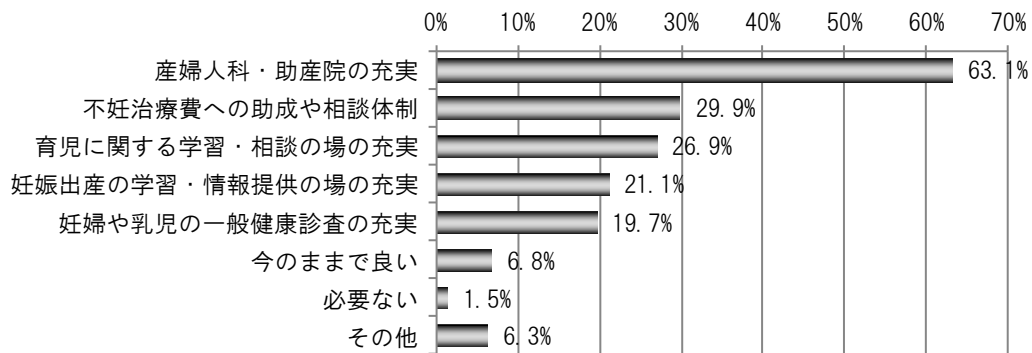


問20 妊娠・出産への取り組み施策

【問20】村が力を入れるべき妊娠・出産に関する取り組みとして何が重要だと思いますか。当てはまる番号に2つまで○印をつけてください。

妊娠・出産に関する取り組みとして「産婦人科・助産院の充実」が63.1%と圧倒的に多く、次いで「不妊治療費への助成や不妊に関する相談体制の充実」29.9%、「育児に関する学習・相談の場の充実」26.9%、「妊娠・出産に関する学習・情報提供の場の充実」21.1%の順となっている。

問20妊娠・出産への取り組み施策	実数(人)	構成比
産婦人科・助産院の充実	260	63.1%
不妊治療費への助成や不妊に関する相談体制の充実	123	29.9%
育児に関する学習・相談の場の充実	111	26.9%
妊娠・出産に関する学習・情報提供の場の充実	87	21.1%
妊婦や乳児の一般健康診査の充実	81	19.7%
今のままで良い	28	6.8%
必要ない	6	1.5%
その他	26	6.3%
有効回答数	412	

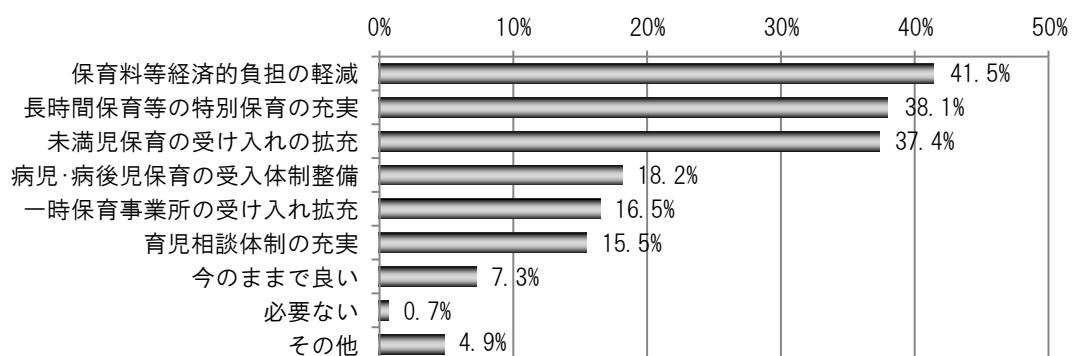


問21 保育サービスへの取り組み施策

【問21】村が力を入れるべき保育サービスの充実への取り組みとして何が重要だと思いますか。当てはまる番号に2つまで○印をつけてください。

保育サービスへの取り組みとして、「保育料の見直しによる経済的負担の軽減」41.5%、「長時間保育等の特別保育の充実」38.1%、「3歳未満児保育の受け入れの拡充」37.4%が高い値を示している。

問21保育サービスへの取り組み施策	実数(人)	構成比
保育料の見直しによる経済的負担の軽減	171	41.5%
長時間保育等の特別保育の充実	157	38.1%
3歳未満児保育の受け入れの拡充	154	37.4%
病児・病後児保育の受け入れ体制整備	75	18.2%
一時保育事業所の受け入れの拡充	68	16.5%
子育てに関する悩みに対する育児相談体制の充実	64	15.5%
今のままで良い	30	7.3%
必要ない	3	0.7%
その他	20	4.9%
有効回答数	412	

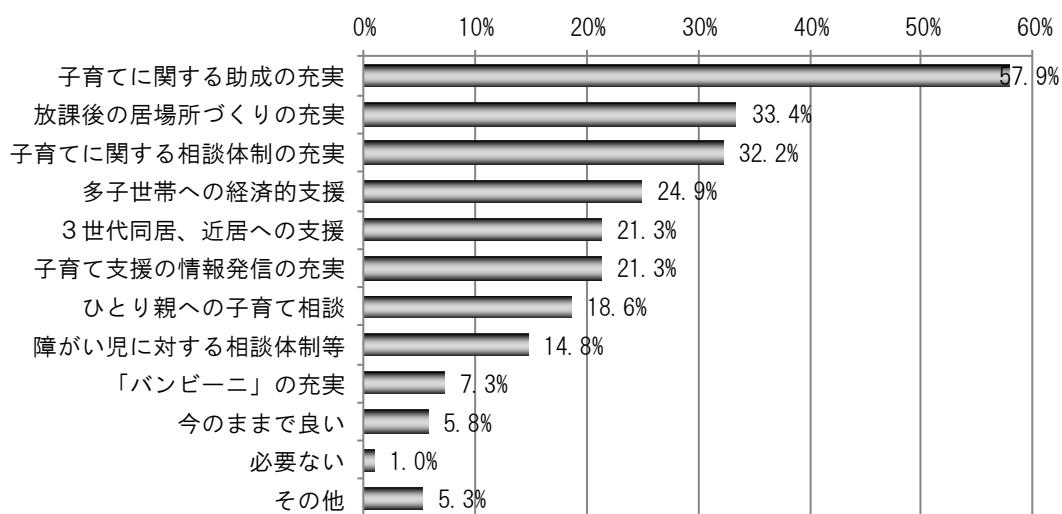


## 問22 子育て支援への取り組み施策

【問22】村が力を入れるべき子育て支援に関する取り組みとして何が重要だと思いますか。当てはまる番号に3つまで○印をつけてください。

子育て支援への取り組みとして、「乳幼児医療費給付等、子育てに関する助成の充実」が57.9%と最も高い。次いで「放課後の子どもの居場所づくりの充実」33.4%、「健康・発育・家庭・教育等、子育てに関する相談体制の充実」32.2%、「多子世帯への経済的支援」24.9%となっている。「今のままで良い」は5.8%に留まっている。

問22子育て支援への取り組み施策	実数(人)	構成比
乳幼児医療費給付等、子育てに関する助成の充実	239	57.9%
放課後の子どもの居場所づくりの充実	138	33.4%
健康・発育・家庭・教育等、子育てに関する相談体制の充実	133	32.2%
多子世帯への経済的支援	103	24.9%
3世代同居、近居への支援	88	21.3%
子育て支援に関する情報発信の充実	88	21.3%
ひとり親への子育てに関する相談・支援の充実	77	18.6%
障がい児に対する相談体制や教育的支援の充実	61	14.8%
つどいの広場「バンビーニ」の充実	30	7.3%
今のままで良い	24	5.8%
必要ない	4	1.0%
その他	22	5.3%
有効回答数	413	

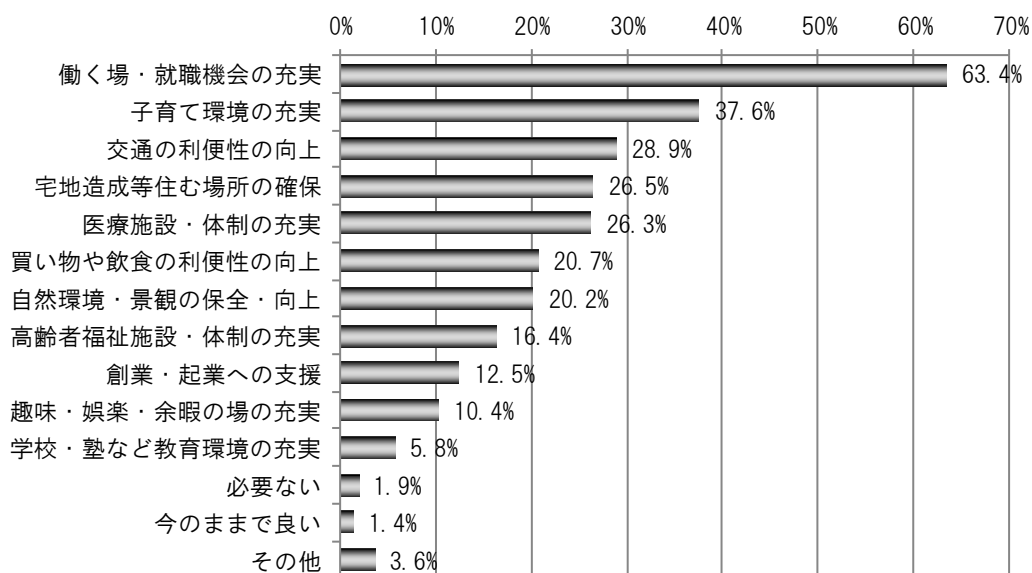


問23 Uターン増進等への取り組み施策

【問23】Uターンなど中川村への転入者の増進のために、また、中川村からの転出者を抑制するために村が力を入れるべき取り組みとして、何が重要だと思いますか。当てはまる番号に3つまで○印をつけてください。

Uターンへ増進等への取り組みとして、「働く場・就職機会の充実」63.4%と圧倒的に多く、次いで「子育て環境の充実」が37.6%、「交通の利便性の向上」が28.9%、「宅地造成等住む場所の確保」が26.5%、「医療施設・体制の充実」が26.3%となっている。

問23Uターン増進等への取り組み施策	実数(人)	構成比
働く場・就職機会の充実	263	63.4%
子育て環境の充実	156	37.6%
交通の利便性の向上	120	28.9%
宅地造成等住む場所の確保	110	26.5%
医療施設・体制の充実	109	26.3%
買い物や飲食の利便性の向上	86	20.7%
自然環境・景観の保全・向上	84	20.2%
高齢者福祉施設・体制の充実	68	16.4%
創業・起業への支援	52	12.5%
趣味・娯楽・余暇の場の充実	43	10.4%
学校・塾など教育環境の充実	24	5.8%
必要ない	8	1.9%
今のままで良い	6	1.4%
その他	15	3.6%
有効回答数	415	

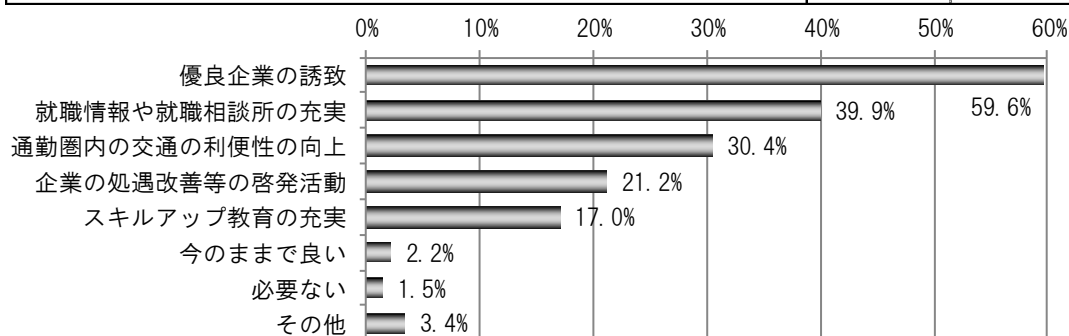


## 問24 雇用の拡大への取り組み施策

【問24】村が力を入れるべき雇用の拡大を目指す取り組みとして何が重要だと思いますか。当てはまる番号に2つまで○印をつけてください。

雇用の拡大のための取り組みとして「優良企業の誘致」が59.6%と高い値を示した。次いで「就職情報や就職相談所の充実」39.9%、「通勤圏内における交通の利便性の向上」30.4%の順となっている。

問24雇用の拡大への取り組み	実数(人)	構成比
優良企業の誘致	245	59.6%
就職情報や就職相談所の充実	164	39.9%
通勤圏内における交通の利便性の向上	125	30.4%
企業に対し、非正規労働者の処遇の改善等に向けた啓発活動	87	21.2%
起業向け経営セミナーや就職に向けた資格取得等、スキルアップ教育の充実	70	17.0%
今のままで良い	9	2.2%
必要ない	6	1.5%
その他	14	3.4%
有効回答数	411	

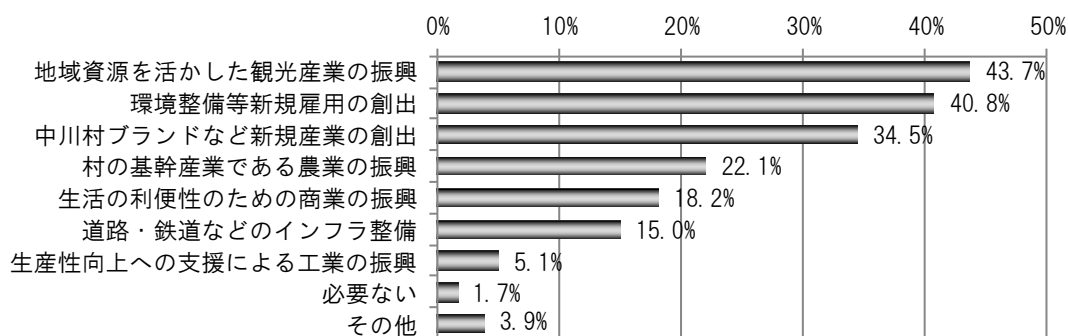


## 問25 地域経済活性化への取り組み施策

【問25】村が力を入れるべき中川村の地域経済活性化のための取り組みとして、何が重要だと思いますか。当てはまる番号に2つまで○印をつけてください。

地域活性化のための取り組みとして「村の自然・景観など地域資源を活かした観光産業の振興」が43.7%と最も多く、次いで「企業誘致、起業しやすい環境の整備など新規雇用の創出」40.8%、「6次産業化や中川村ブランドなど新規産業の創出」34.5%の順となっている。

問25地域経済活性化への取り組み	実数(人)	構成比
村の自然・景観など地域資源を活かした観光産業の振興	180	43.7%
企業誘致、起業しやすい環境の整備など新規雇用の創出	168	40.8%
6次産業化や中川村ブランドなど新規産業の創出	142	34.5%
村の基幹産業である農業の振興	91	22.1%
生活の利便性を向上させるための商業の振興	75	18.2%
道路・鉄道などのインフラ整備	62	15.0%
生産性向上への支援による工業の振興	21	5.1%
必要ない	7	1.7%
その他	16	3.9%
有効回答数	412	



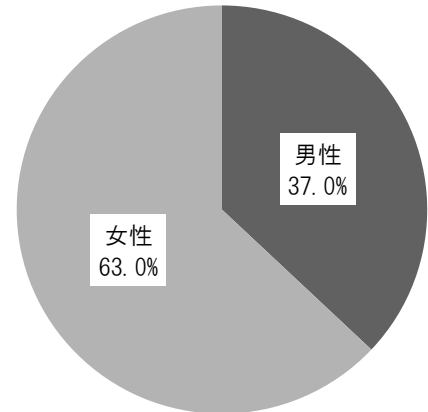
## 2.就職の動向や進路希望状況調査（対象者：村内外若者 19 歳以上～24 歳未満）

### 問1 性別

**【問1】 あなたの性別をお答えください。**

回答者の性別は、「男性」が 37.0%、「女性」が 63.0%であり、女性が多い。

問1 性別	実数(人)	構成比
男性	27	37.0%
女性	46	63.0%
無回答	15	
計	73	100%

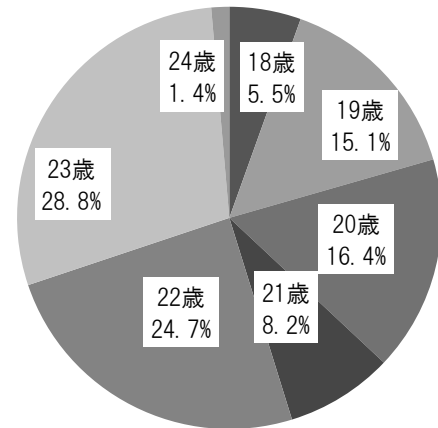


### 問2 年齢

**【問2】 あなたの年齢をお答えください。**

年齢構成は、23歳が 28.8%と最も多く、次いで22歳が 24.7%と多くを占めている。

問2 年齢	実数(人)	構成比
18歳	4	5.5%
19歳	11	15.1%
20歳	12	16.4%
21歳	6	8.2%
22歳	18	24.7%
23歳	21	28.8%
24歳	1	1.4%
無回答	15	
計	73	100%

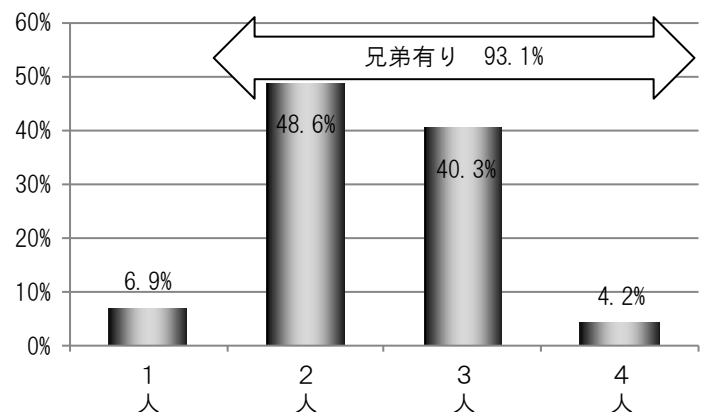


### 問3 何人兄弟の何番目

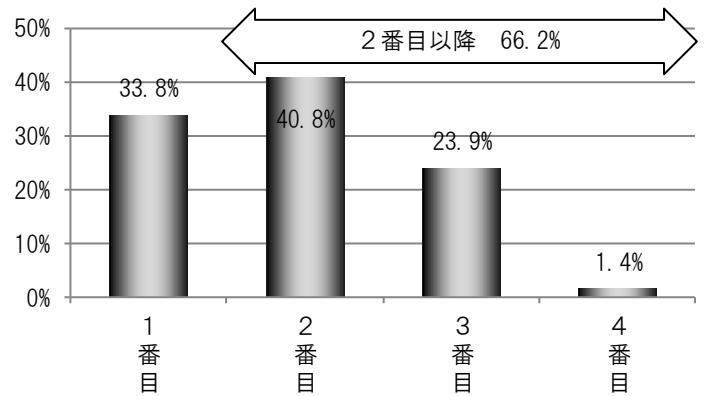
**【問3】 あなたは何番目の兄弟・姉妹ですか。**

兄弟の人数について、「2人」が 48.6%、次いで「3人」が 40.3%であり、ほとんどを占めている。兄弟の有無では「ひとりっこ」は 6.9%、兄弟有りは 93.1%となっている。兄弟の何番目なのかの問いでは、「2番目」が 40.8%、「1番目」が 33.8%と多く、「2番目」以降は合わせて 66.2%であった。

問3-1何人兄弟・姉妹	実数(人)	構成比
1人	5	6.9%
2人	35	48.6%
3人	29	40.3%
4人	3	4.2%
無回答	16	
計	72	100%



問3-2何番目	実数(人)	構成比
1番目	24	33.8%
2番目	29	40.8%
3番目	17	23.9%
4番目	1	1.4%
無回答	17	
計	71	100%



#### 問4 居住地

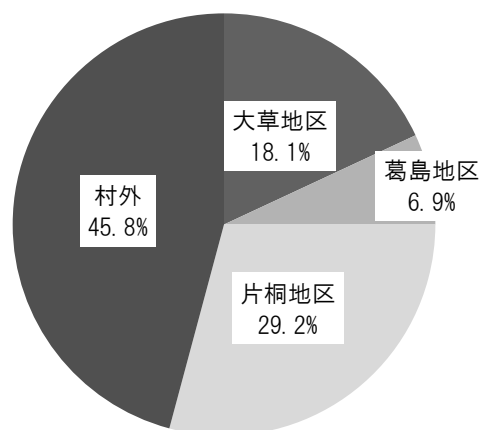
##### 【問4】あなたの現在の居住地はどちらですか。

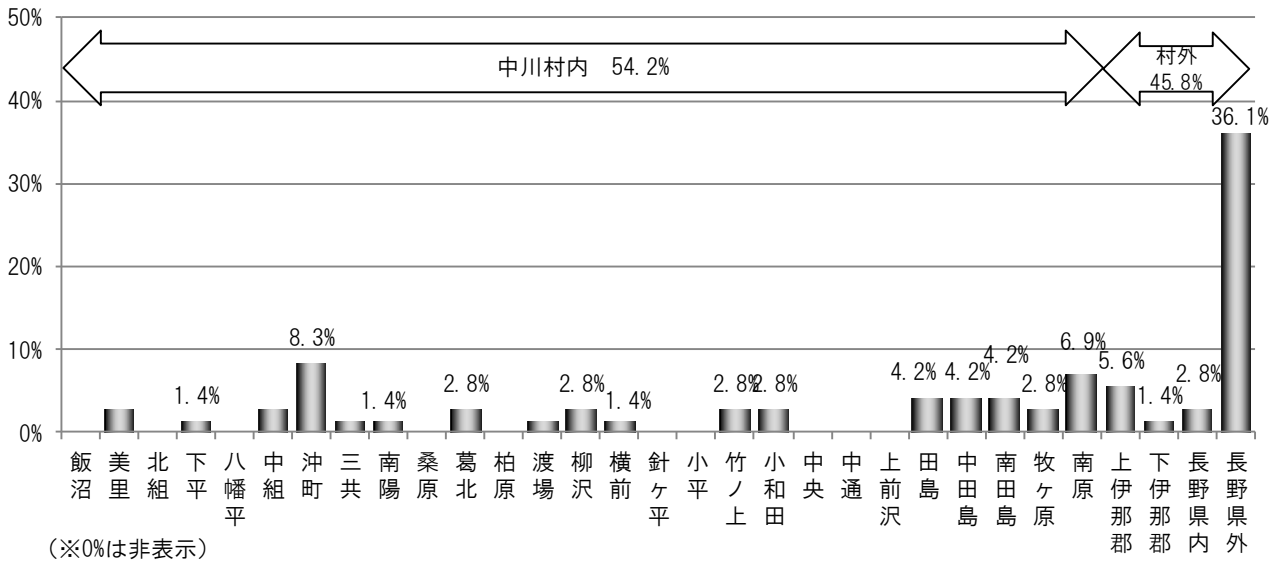
現在の居住地は「長野県外」が36.1%と最も多く、次いで「沖町」「南原」「上伊那郡」の順となっている。

大字別に見ると、「片桐地区」29.2%、「大草地区」18.1%、「葛島地区」6.9%となり、村内外別に見ると、「中川村内」が54.2%、「村外」が45.8%となっている。村外の主な居住地は、東京都、神奈川県、愛知県等であった。

問4居住地	実数(人)	構成比
飯沼	0	0.0%
美里	2	2.8%
北組	0	0.0%
下平	1	1.4%
八幡平	0	0.0%
中組	2	2.8%
沖町	6	8.3%
三共	1	1.4%
南陽	1	1.4%
桑原	0	0.0%
葛北	2	2.8%
柏原	0	0.0%
渡場	1	1.4%
柳沢	2	2.8%
横前	1	1.4%
針ヶ平	0	0.0%
小平	0	0.0%
竹ノ上	2	2.8%
小和田	2	2.8%
中央	0	0.0%
中通	0	0.0%
上前沢	0	0.0%
田島	3	4.2%
中田島	3	4.2%
南田島	3	4.2%
牧ヶ原	2	2.8%
南原	5	6.9%
上伊那郡	4	5.6%
下伊那郡	1	1.4%
長野県内	2	2.8%
長野県外	26	36.1%
無回答	16	
計	72	100%

問4居住地	実数(人)	構成比
大草地区	13	18.1%
葛島地区	5	6.9%
片桐地区	21	29.2%
村外	33	45.8%
合計	72	100.0%



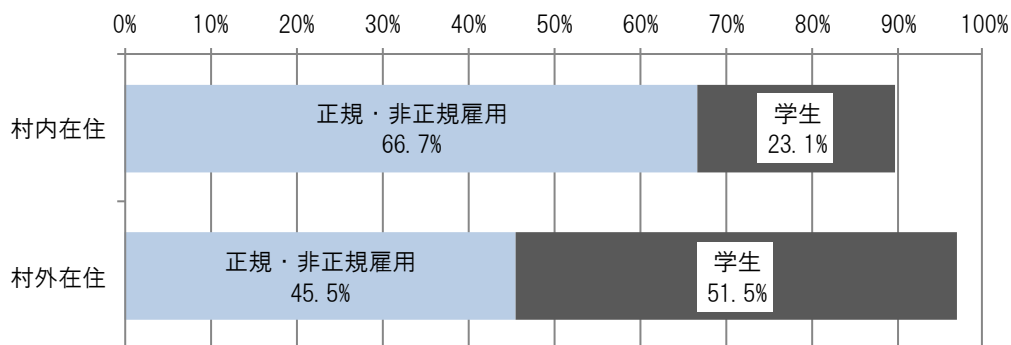
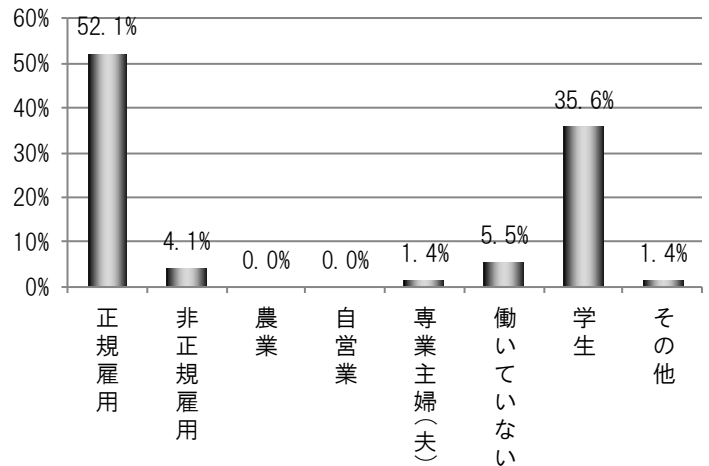


### 問5 職業

#### 【問5】あなたの職業は何ですか。

職業は、「正規雇用」が 52.1%と多くを占めており、次いで「学生」35.6%、「働いていない」5.5%の順となっている。問4の居住地別に見ると、村内在住者の「正規・非正規雇用」66.7%、「学生」23.1%と「正規・非正規雇用」が多いのに対し、村外在住者は「正規・非正規雇用」45.5%、「学生」51.5%と「学生」の方が多い。

問5 職業	実数(人)	構成比
正規雇用	38	52.1%
非正規雇用	3	4.1%
農業	0	0.0%
自営業	0	0.0%
専業主婦(夫)	1	1.4%
働いていない	4	5.5%
学生	26	35.6%
その他	1	1.4%
無回答	15	
計	73	100%

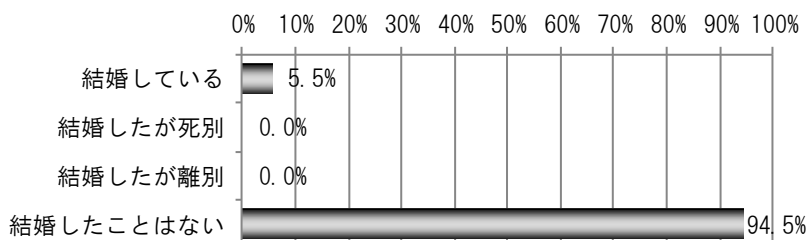


## 問6 結婚の有無

【問6】あなたは現在結婚されていますか。

現在独身者は94.5%、既婚者はわずか5.55%であった。

問6 結婚の有無	実数(人)	構成比
結婚している	4	5.5%
結婚したが死別	0	0.0%
結婚したが離別	0	0.0%
結婚したことはない	69	94.5%
無回答	15	
計	73	100%

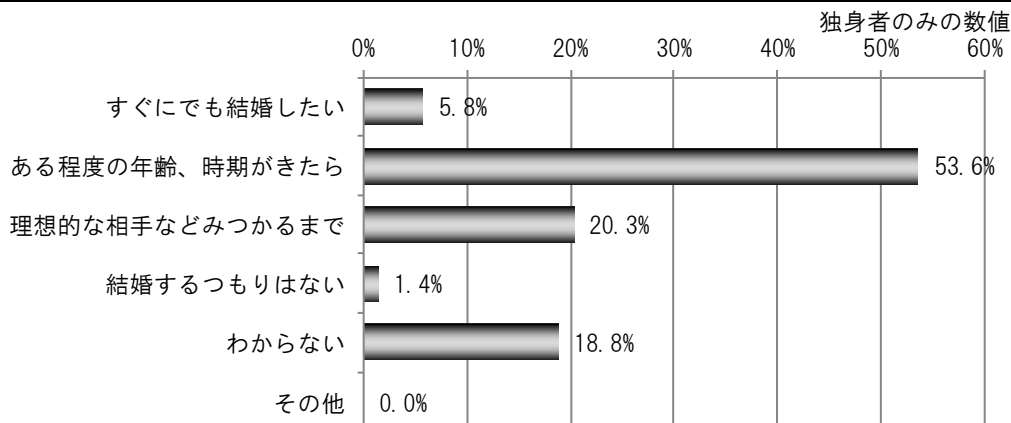


## 問7 結婚の意向

【問7】自分の結婚について考えた場合、当てはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

結婚に対する意向については、「ある程度の年齢、時期がきたら結婚するつもりである」が53.6%と最も多く、次いで「理想的な相手、好きな相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない」が20.3%となっている。「すぐにでも結婚したい」「ある程度の年齢、時期がきたら結婚するつもりである」「理想的な相手、好きな相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない」の結婚の意思がある回答は79.7%と多くを占めている。「結婚するつもりはない」は1.4%に留まっている。

問7 結婚の意向	実数(人)	構成比
すぐにでも結婚したい	4	5.8%
ある程度の年齢、時期がきたら結婚するつもりである	37	53.6%
理想的な相手、好きな相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない	14	20.3%
結婚するつもりはない	1	1.4%
わからない	13	18.8%
その他	0	0.0%
無回答	0	
計	69	100%



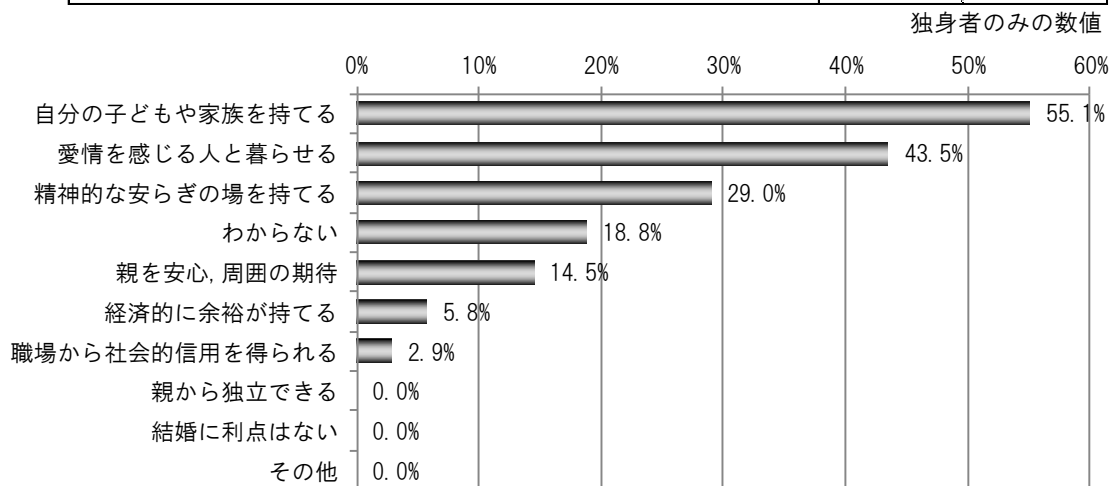


## 問8 結婚の利点

【問8】結婚の利点について考えた場合、当てはまる番号に2つまで○印をつけてください。

結婚の利点として、「自分の子どもや家族を持てる」が55.1%、「愛情を感じる人と暮らせる」が43.5%と高い値を示している。次いで「精神的な安らぎの場を持てる」が29.0%、「わからない」が18.8%となっている。「結婚に利点はない」との回答は無かった。

問8 結婚の利点	実数(人)	構成比
自分の子どもや家族を持てる	38	55.1%
愛情を感じる人と暮らせる	30	43.5%
精神的な安らぎの場を持てる	20	29.0%
わからない	13	18.8%
親を安心させたり周囲の期待に応えたりすることができる	10	14.5%
経済的に余裕が持てる	4	5.8%
職場や周囲から社会的信用を得られる	2	2.9%
親から独立できる	0	0.0%
結婚に利点はない	0	0.0%
その他	0	0.0%
有効回答数	69	



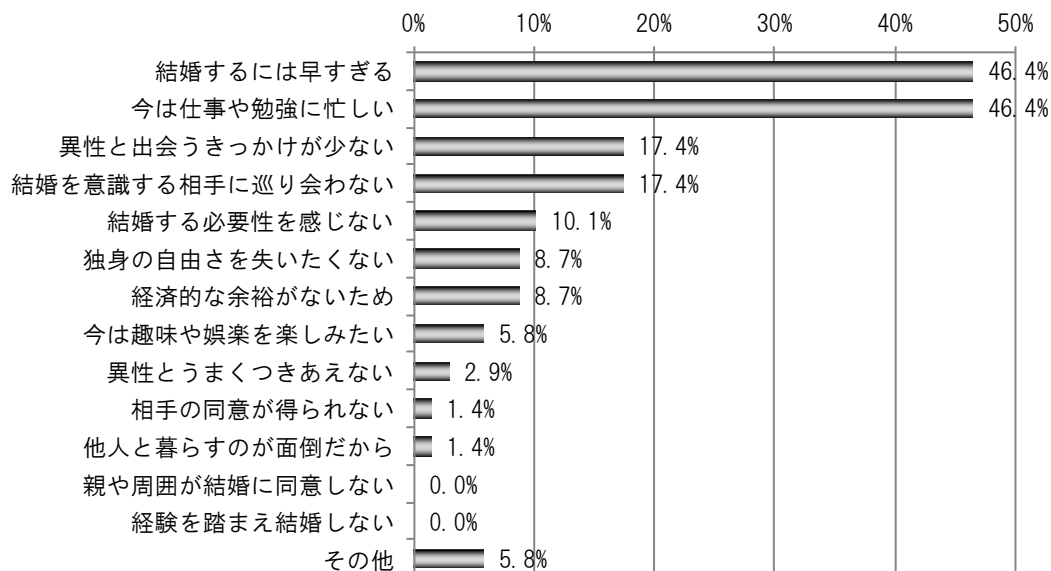
## 問9 独身の理由

【問9】現在、あなたが独身でいる理由は何ですか。当てはまる番号に2つまで○印をつけてください。

独身でいる理由として、「結婚するには早すぎる(若すぎるなど)」「今は仕事や勉強に忙しい」がともに46.4%と多くを占めている。次いで「異性と出会うきっかけが少ない」「結婚を意識する相手にまだ巡り会わない」がともに17.4%となっている。「結婚する必要性を感じない」は10.1%に及んでいる。

問9 独身の理由	実数(人)	構成比
結婚するには早すぎる(若すぎるなど)	32	46.4%
今は仕事や勉強に忙しい	32	46.4%
異性と出会うきっかけが少ない	12	17.4%
結婚を意識する相手にまだ巡り会わない	12	17.4%
結婚する必要性を感じない	7	10.1%
独身の自由さ気楽さを失いたくない	6	8.7%
経済的な余裕がないため結婚できない	6	8.7%
今は趣味や娯楽を楽しみたい	4	5.8%
異性とうまくつきあえない	2	2.9%
結婚に対して相手の同意が得られない	1	1.4%
他人と暮らすのが面倒だから	1	1.4%
親や周囲が結婚に同意しない	0	0.0%
以前結婚していた経験を踏まえ、結婚しない	0	0.0%
その他	4	5.8%
有効回答数	69	

独身者のみの数値

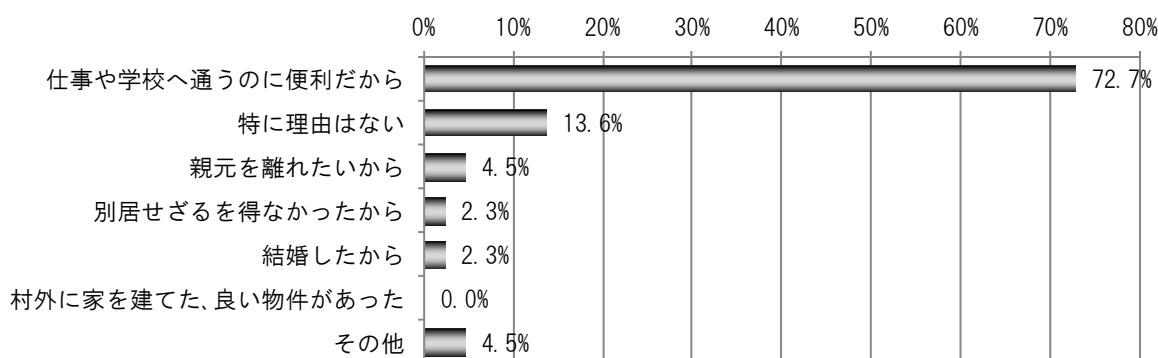


## 問10 村外居住の理由

【問10】あなたが中川村外に居住地を置いている理由は何ですか。当てはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

中川村外に居住している理由は、「仕事や学校へ通うのに便利だから、仕事をする上で便利だから」が72.7%と、ほとんどを占めている。次いで「特に理由はない」が13.6%となっている。

問10村外居住の理由	実数(人)	構成比
仕事や学校へ通うのに便利だから、仕事等をする上で便利だから	32	72.7%
特に理由はない	6	13.6%
親元を離れたいから	2	4.5%
実家が狭いなどの理由から別居せざるを得なかったから	1	2.3%
結婚したから	1	2.3%
村外に家建てた、村外に良い物件(土地・家・アパート等)があったから	0	0.0%
その他	2	4.5%
計	44	100%

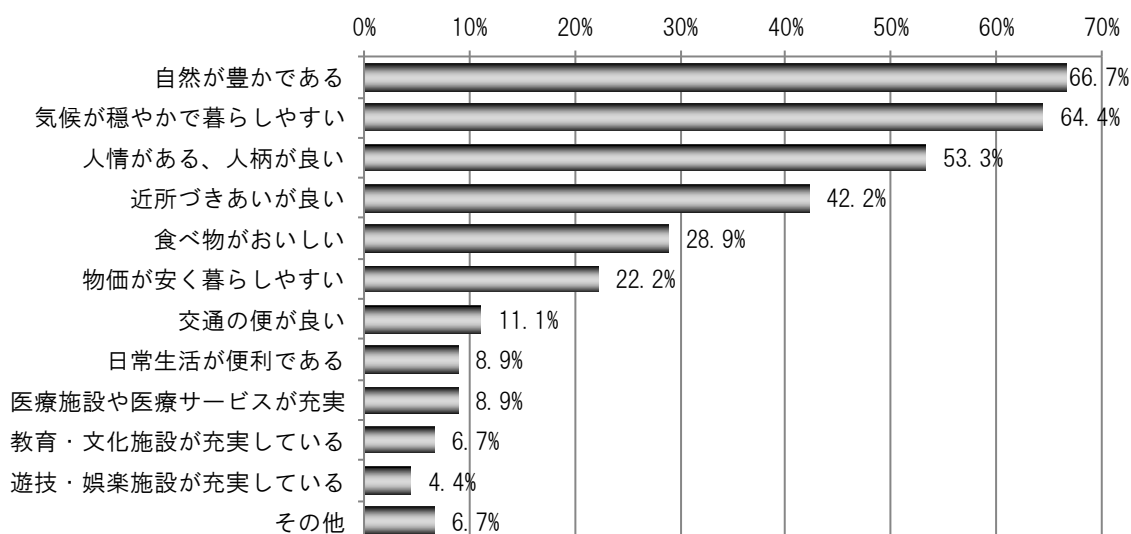


### 問11 中川村にある要素

【問11】あなたの現在の居住地と中川村とを比較して中川村に当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

中川村外に居住している人が感じる中川村にある要素は、「きれいな緑や水などの自然が豊かである」が66.7%と最も多く、次いで「気候が穏やかで暮らしやすい」が64.4%、「人情がある、人柄が良い」が53.3%、「近所づきあいが良い」が42.2%と多くなっている。

問11中川村にある要素	実数(人)	構成比
きれいな緑や水などの自然が豊かである	30	66.7%
気候が穏やかで暮らしやすい	29	64.4%
人情がある、人柄が良い	24	53.3%
近所づきあいが良い	19	42.2%
食べ物がおいしい	13	28.9%
物価が安く暮らしやすい	10	22.2%
公共交通や道路整備など、交通の便が良い	5	11.1%
買い物や飲食など日常生活が便利である	4	8.9%
医療施設や医療サービスが充実している	4	8.9%
教育・文化施設が充実している	3	6.7%
遊技・娯楽施設が充実している	2	4.4%
その他	3	6.7%
有効回答数	45	



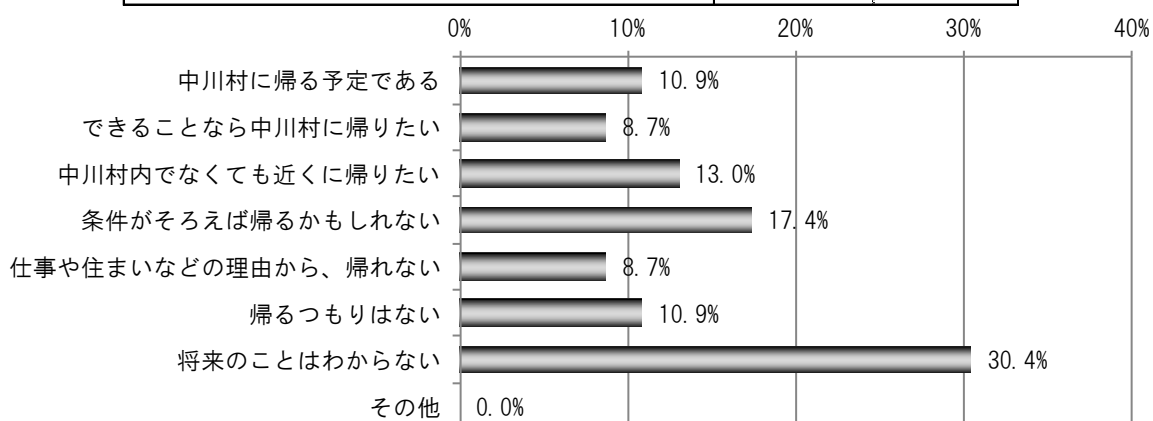
### 問13 Uターン意向

【問13】あなたは将来、中川村へ帰る（Uターン）意向はありますか。当てはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

中川村外に居住している人のUターン意向は、「将来のことはわからない」が30.4%と最も多く、次いで「条件がそろえば帰るかもしれない」「中川村内でなくても近くに帰りたい」が順に17.4%、13.0%となっている。

「中川村に帰る予定である」から「条件がそろえば帰るかもしれない」までの帰る意思が見られる回答は合わせて50.0%、「仕事や住まいなどの理由から、帰れない」と「帰るつもりはない」までの帰る意思が見られない回答は19.6%となっている。「条件がそろえば帰るかもしれない」の具体的な条件は「働く場所があること」を挙げている回答が多かった。

問13Uターン意向	実数(人)	構成比
中川村に帰る予定である	5	10.9%
できることなら中川村に帰りたい	4	8.7%
中川村内でなくても近くに帰りたい	6	13.0%
条件がそろえば帰るかもしれない	8	17.4%
仕事や住まいなどの理由から、帰れない	4	8.7%
帰るつもりはない	5	10.9%
将来のことはわからない	14	30.4%
その他	0	0.0%
計	46	100%

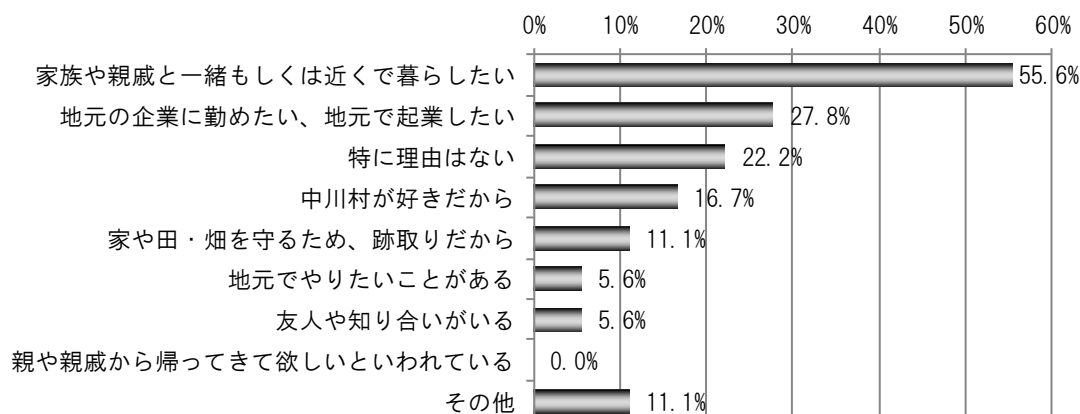


#### 問14 Uターンの理由

【問14】問13で、1から3までの回答をした方だけお答えください。  
 中川村及び中川村周辺にUターンする(したい)理由は何ですか。当てはまる番号に2つまで○印をつけてください。

Uターンする(したい)理由は、「家族や親戚と一緒にもしくは近くで暮らしたい」が55.6%と多くを占めている。次いで「地元の企業に勤めたい、地元で起業したい」「特に理由はない」が順に27.8%、22.2%となっている。

問14Uターンの理由	実数(人)	構成比
家族や親戚と一緒にもしくは近くで暮らしたい	10	55.6%
地元の企業に勤めたい、地元で起業したい	5	27.8%
特に理由はない	4	22.2%
中川村が好きだから	3	16.7%
家や田・畑を守るため、跡取りだから	2	11.1%
地元でやりたいことがある	1	5.6%
友人や知り合いがいる	1	5.6%
親や親戚から帰ってきて欲しいといわれている	0	0.0%
その他	2	11.1%
有効回答数	18	

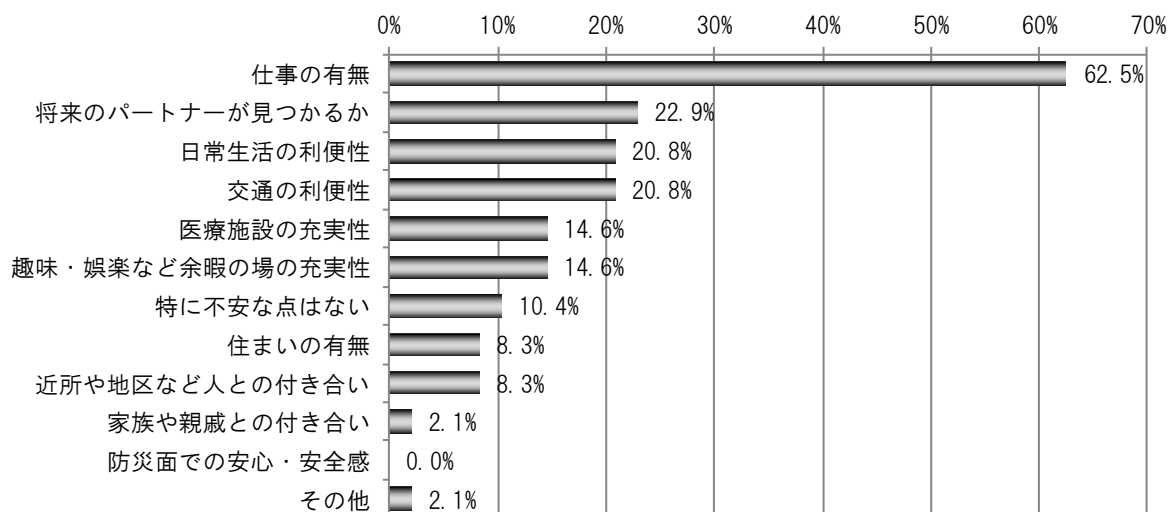


#### 問15 Uターン時の不安点

【問15】全員お答えください。あなたが将来、中川村へ帰る(Uターン)場合、不安な点は何ですか。当てはまる番号に2つまで○印をつけてください。

Uターンの際に不安となる点について、「仕事の有無」が62.5%と高い値を示している。次いで、「将来のパートナーが見つかるか」が22.9%、「日常生活の利便性」「交通の利便性」が20.8%となっている。

問15Uターン時の不安点	実数(人)	構成比
仕事の有無	30	62.5%
将来のパートナーが見つかるか	11	22.9%
日常生活の利便性	10	20.8%
交通の利便性	10	20.8%
医療施設の充実性	7	14.6%
趣味・娯楽など余暇の場の充実性	7	14.6%
特に不安な点はない	5	10.4%
住まいの有無	4	8.3%
近所や地区など人との付き合い	4	8.3%
家族や親戚との付き合い	1	2.1%
防災面での安心・安全感	0	0.0%
その他	1	2.1%
有効回答数	48	

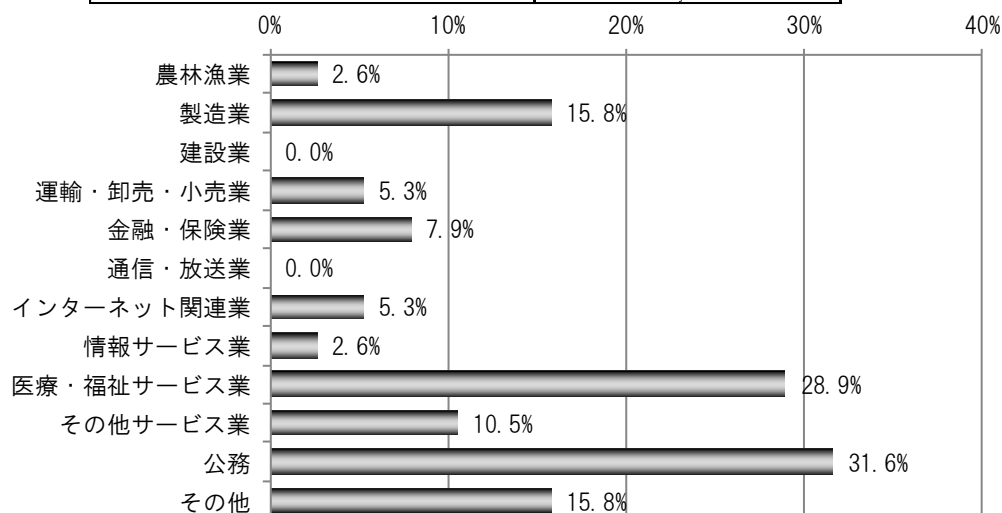


### 問16 将来就きたい仕事（未就業者）

【問16】あなたが将来就きたい仕事は何ですか。当てはまる番号に2つまで○をつけてください。

将来就きたい仕事は、「公務」「医療・福祉サービス業」が順に 31.6%、28.9%と高い値を示している。次いで「製造業」「その他」がともに 15.8%となっている。

問16将来就きたい仕事(未就業者)	実数(人)	構成比
農林漁業	1	2.6%
製造業	6	15.8%
建設業	0	0.0%
運輸・卸売・小売業	2	5.3%
金融・保険業	3	7.9%
通信・放送業	0	0.0%
インターネット関連業	2	5.3%
情報サービス業	1	2.6%
医療・福祉サービス業	11	28.9%
その他サービス業	4	10.5%
公務	12	31.6%
その他	6	15.8%
有効回答数	38	



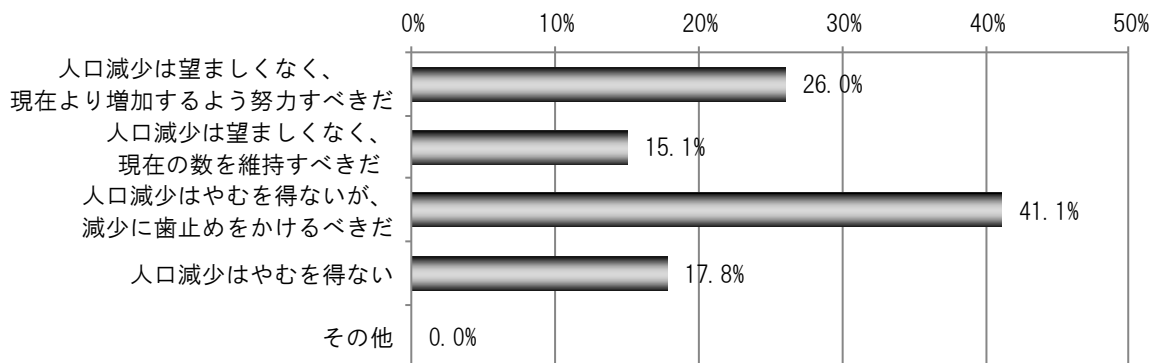
### 問17 人口減少への考え

【問17】中川村の人口は現在約5,000人ですが、平成52年(2040年:25年後)には約3,700人に減少すると公表されています(国立社会保障・人口問題研究所の推計)。

中川村の人口が急激に減少していくことについて、あなたの考えに最も近い番号に1つだけ○印をつけてください。

中川村の人口減少に対する考えは、「人口減少はやむを得ないが、減少に歯止めをかけるべきだ」が41.1%と最も多く、次いで「人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだ」が26.0%、「人口減少はやむを得ない」が17.8%となっている。

問17人口減少への考え	実数(人)	構成比
人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだ	19	26.0%
人口減少は望ましくなく、現在の数を維持すべきだ	11	15.1%
人口減少はやむを得ないが、減少に歯止めをかけるべきだ	30	41.1%
人口減少はやむを得ない	13	17.8%
その他	0	0.0%
無回答	15	
計	73	100%

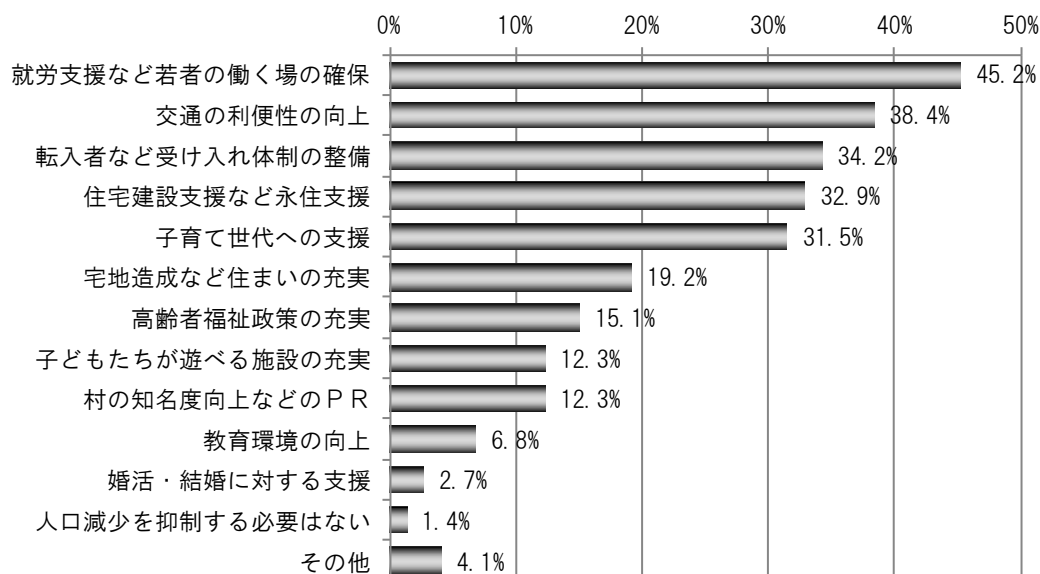


### 問18 人口減少抑制のための取り組み施策

【問18】人口の減少を抑制するために力を入れるべき施策は何ですか。当てはまる番号に3つまで○印をつけてください。

人口減少抑制のための取り組み施策として「企業誘致や就労支援など若者の働く場の確保」が45.2%と最も多く、次いで「JR飯田線のダイヤ改善や幹線道路の整備など交通の利便性の向上」「転入者への住まいの提供や就職相談など受け入れ体制の整備」「住宅建設への支援など永住に対する支援」「出産祝い金や保育所サービスの充実など子育て世代への支援」が順に38.4%、34.2%、32.9%、31.5%と高い値を示している。

問18人口減少抑制のための施策	実数(人)	構成比
企業誘致や就労支援など若者の働く場の確保	33	45.2%
JR飯田線のダイヤ改善や幹線道路の整備など交通の利便性の向上	28	38.4%
転入者への住まいの提供や就職相談など受け入れ体制の整備	25	34.2%
住宅建設への支援など永住に対する支援	24	32.9%
出産祝い金や保育所サービスの充実など子育て世代への支援	23	31.5%
公営住宅の建設や宅地造成など住まいの充実	14	19.2%
高齢者福祉政策の充実	11	15.1%
公園の整備など子どもたちが遊べる施設の充実	9	12.3%
村の知名度向上などイメージアップのためのPR	9	12.3%
学校教育の充実など教育環境の向上	5	6.8%
結婚相談や出会いの場の提供など婚活・結婚に対する支援	2	2.7%
人口減少を抑制する必要はない	1	1.4%
その他	3	4.1%
有効回答数	73	

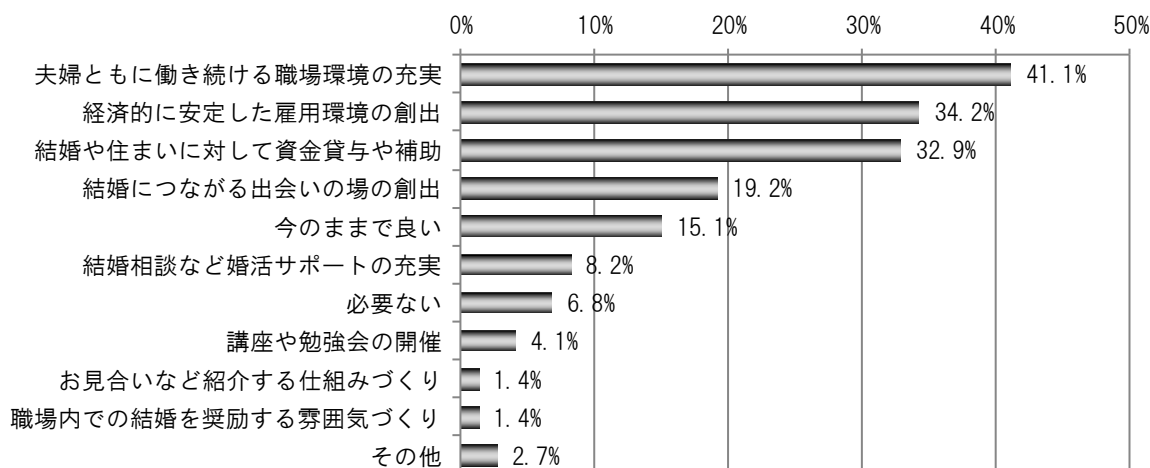


### 問19 結婚支援への取り組み施策

【問19】地域・企業・村が力を入れるべき結婚を支援する取り組みとして、何が重要だと思いますか。当ではまる番号に2つまで○印をつけてください。

結婚支援への取り組みについて、「夫婦がともに働き続けることができる職場環境の充実」が41.1%と最も多く、次いで「経済的に安定した雇用環境の創出」「結婚や住まいに対して資金貸与や補助を行う」が順に34.2%、32.9%となっている。

問19結婚支援策	実数(人)	構成比
夫婦がともに働き続けることができる職場環境の充実	30	41.1%
経済的に安定した雇用環境の創出	25	34.2%
結婚や住まいに対して資金貸与や補助を行う	24	32.9%
結婚につながる出会いの場の創出(イベントやパーティー)	14	19.2%
今のままで良い	11	15.1%
結婚相談など婚活サポートの充実	6	8.2%
必要ない	5	6.8%
コミュニケーションやファッション等の講座や勉強会の開催	3	4.1%
職場内での結婚を奨励する取り組みや雰囲気づくり	1	1.4%
お見合いなど周りの人が世話を焼いて紹介する仕組みづくり	1	1.4%
その他	2	2.7%
有効回答数	73	



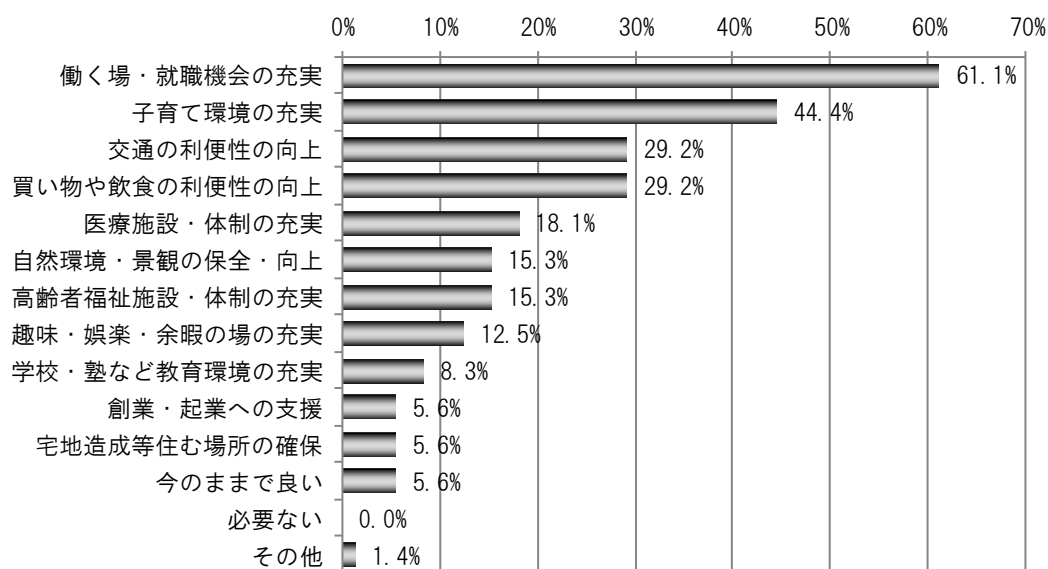


## 問20 Uターン増進等への取り組み施策

【問20】Uターンなど中川村への転入者の増進のために、また、中川村からの転出者を抑制するために村が力を入れるべき取り組みとして、何が重要だと思いますか。当てはまる番号に3つまで○印をつけてください。

Uターン増進等のための取り組みについて、「働く場・就職機会の充実」が61.1%が最も多く、次いで「子育て環境の充実」が44.4%、「交通の利便性の向上」及び「買い物や飲食の利便性の向上」がともに29.2%となっている。

問20Uターン増進等への取り組み施策	実数(人)	構成比
働く場・就職機会の充実	44	61.1%
子育て環境の充実	32	44.4%
交通の利便性の向上	21	29.2%
買い物や飲食の利便性の向上	21	29.2%
医療施設・体制の充実	13	18.1%
自然環境・景観の保全・向上	11	15.3%
高齢者福祉施設・体制の充実	11	15.3%
趣味・娯楽・余暇の場の充実	9	12.5%
学校・塾など教育環境の充実	6	8.3%
創業・起業への支援	4	5.6%
宅地造成等住む場所の確保	4	5.6%
今のままで良い	4	5.6%
必要ない	0	0.0%
その他	1	1.4%
有効回答数	72	

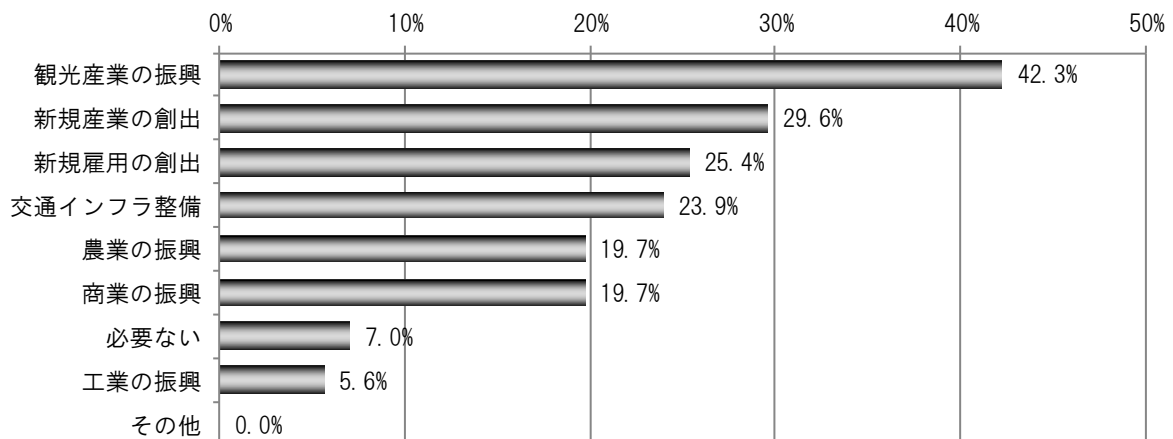


問21 地域経済活性化への取り組み施策

【問21】村が力を入れるべき中川村の地域経済活性化のための取り組みとして、何が重要だと思いますか。当てはまる番号に2つまで○印をつけてください。

地域経済活性化のための取り組みについて、「村の自然や景観など地域資源を活かした観光産業の振興」が42.3%と多くを占め、次いで「6次産業化や中川村ブランドなど新規産業の創出」「企業誘致、起業しやすい環境の整備など新規雇用の創出」「道路・鉄道などのインフラ整備」が順に29.6%、25.4%、23.9%となっている。

問21地域経済活性化への取り組み	実数(人)	構成比
村の自然・景観など地域資源を活かした観光産業の振興	30	42.3%
6次産業化や中川村ブランドなど新規産業の創出	21	29.6%
企業誘致、起業しやすい環境の整備など新規雇用の創出	18	25.4%
道路・鉄道などのインフラ整備	17	23.9%
村の基幹産業である農業の振興	14	19.7%
生活の利便性を向上させるための商業の振興	14	19.7%
必要ない	5	7.0%
生産性向上への支援による工業の振興	4	5.6%
その他	0	0.0%
有効回答数	71	



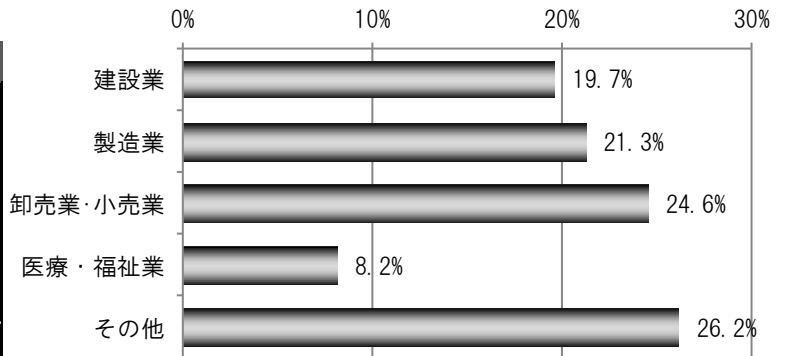
### 3.地域の産業の現状等に関する調査（対象者：村内企業）

#### 問1 主要業種

【問1】 主要業種について、あてはまる番号1つだけ○をつけてください。

主要業種は、「その他」が26.2%、「卸売業・小売業」が24.6%、「製造業」が21.3%、「建設業」が19.7%の順になっている。

問1 主要業種	事業所数	構成比
建設業	12	19.7%
製造業	13	21.3%
卸売業・小売業	15	24.6%
医療・福祉業	5	8.2%
その他	16	26.2%
無回答	0	
計	61	100%

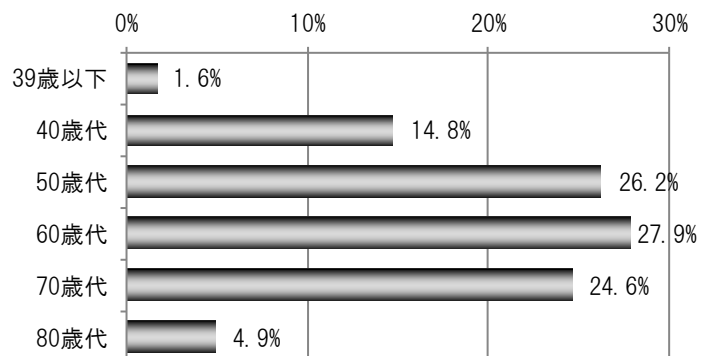


#### 問2 代表者の年齢

【問2】 代表者の年齢について、あてはまる番号1つだけ○をつけてください。

代表者の年齢は、「50歳代」「60歳代」「70歳代」が多い。

問2 代表者の年齢	事業所数	構成比
39歳以下	1	1.6%
40歳代	9	14.8%
50歳代	16	26.2%
60歳代	17	27.9%
70歳代	15	24.6%
80歳代	3	4.9%
無回答	0	
計	61	100%

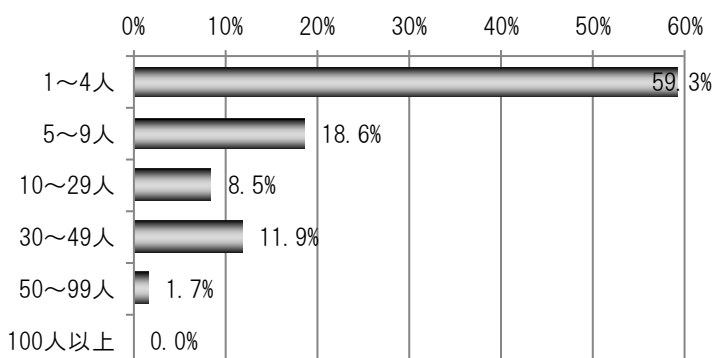


#### 問3 従業員数の規模

【問3】 従業員数の規模について、あてはまる番号1つだけ○をつけてください。従業員には正社員のほか、経営者、役員及び非正規社員（パート・アルバイト）を含めてください。

従業員数の規模は、「1～4人」が59.3%と最も多く、次いで「5～9人」が18.6%となっている。

問3 従業員数規模	事業所数	構成比
1～4人	35	59.3%
5～9人	11	18.6%
10～29人	5	8.5%
30～49人	7	11.9%
50～99人	1	1.7%
100人以上	0	0.0%
無回答	2	
計	59	100%

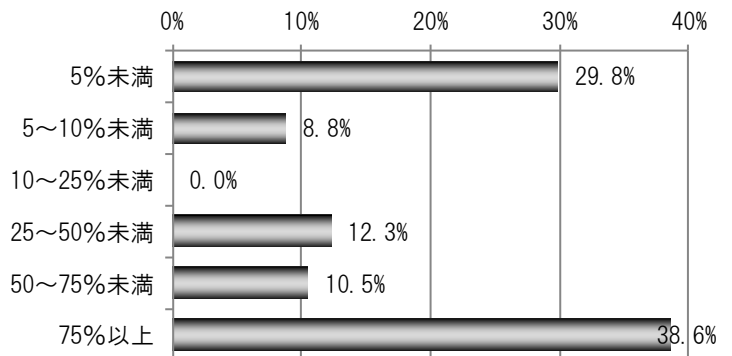


#### 問4 従業員のうち代表者の親族が占める割合

【問4】従業員のうち、代表者の親族が占める割合は概ねどれくらいですか。あてはまる番号1つだけ○をつけてください。従業員には正社員のほか、経営者、役員及び非正規社員（パート・アルバイト）を含めてください。

従業員のうち代表者の親族が占める割合は、「75%以上」が38.6%と最も多く、次いで「5%未満」が29.8%となっている。

問4 親族の割合	事業所数	構成比
5%未満	17	29.8%
5～10%未満	5	8.8%
10～25%未満	0	0.0%
25～50%未満	7	12.3%
50～75%未満	6	10.5%
75%以上	22	38.6%
無回答	4	
計	57	100%

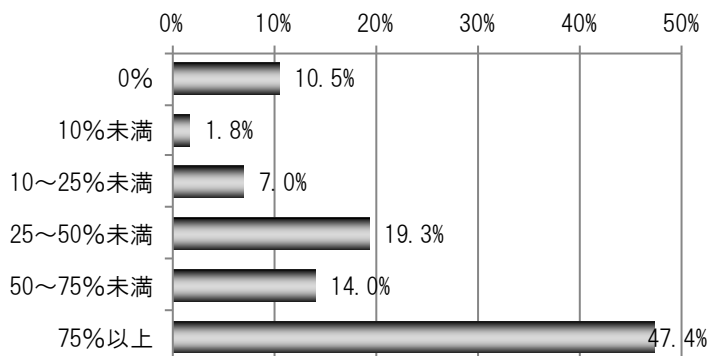


#### 問5 従業員のうち中川村民が占める割合

【問5】従業員のうち、中川村民が占める割合は概ねどれくらいですか。あてはまる番号1つだけ○をつけてください。従業員には正社員のほか、経営者、役員及び非正規社員（パート・アルバイト）を含めてください。

従業員のうち、中川村民が占める割合は、「75%以上」が47.4%と最も多く、次いで「25～50%未満」が19.3%となっている。

問5 村民の割合	事業所数	構成比
0%	6	10.5%
10%未満	1	1.8%
10～25%未満	4	7.0%
25～50%未満	11	19.3%
50～75%未満	8	14.0%
75%以上	27	47.4%
無回答	4	
計	57	100%

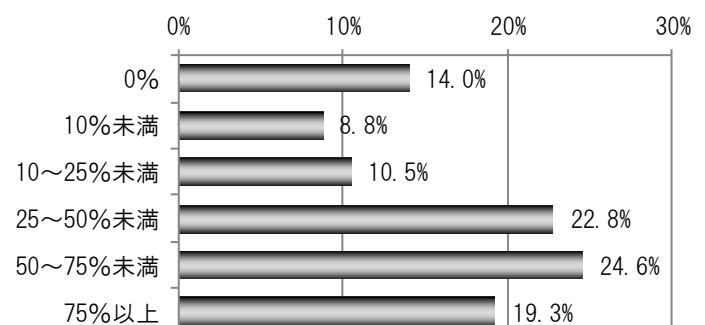


#### 問6 従業員のうち女性が占める割合

【問6】従業員のうち、女性従業員が占める割合は概ねどれくらいですか。あてはまる番号1つだけ○をつけてください。

従業員のうち女性が占める割合は「50～75%未満」が24.6%と最も多く、次いで「25～50%未満」が22.8%となっている。

問6 女性の割合	事業所数	構成比
0%	8	14.0%
10%未満	5	8.8%
10～25%未満	6	10.5%
25～50%未満	13	22.8%
50～75%未満	14	24.6%
75%以上	11	19.3%
無回答	4	
計	57	100%

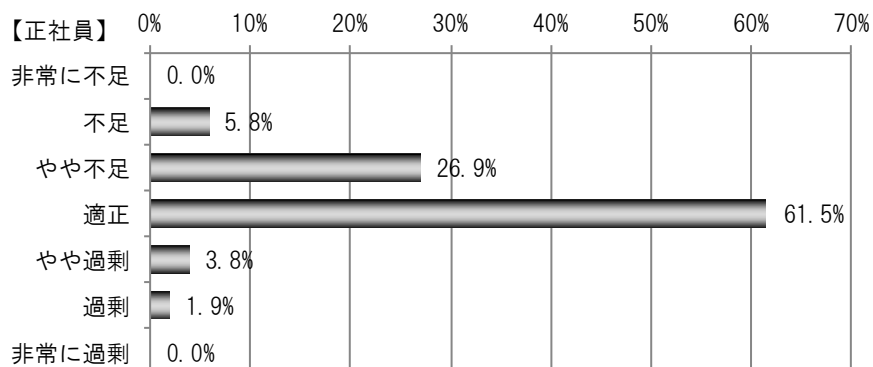


## 問7 従業員の人材過不足状況

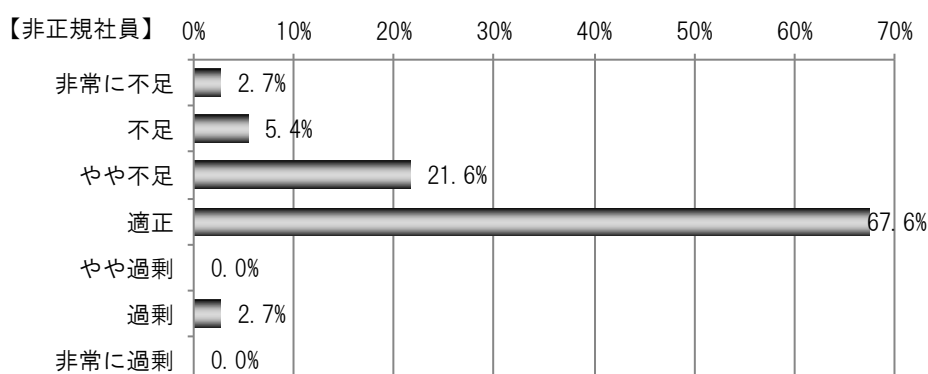
【問7】現在の従業員の人材過不足状況はいかがですか。正社員と非正規社員について、あてはまる番号1つずつ○をつけてください。

人材過不足状況は、正社員では「適正」が61.5%と最も多く、次いで「やや不足」が26.9%を占めている。非正規社員においても、「適正」が67.6%と多くを占めており、次いで、「やや不足」が21.6%となっている。

問7①人材過不足状況（正社員）	事業所数	構成比
非常に不足している	0	0.0%
不足	3	5.8%
やや不足	14	26.9%
適正	32	61.5%
やや過剰	2	3.8%
過剰	1	1.9%
非常に過剰	0	0.0%
無回答	9	
計	52	100%



問7② 人材過不足状況（非正規社員）	事業所数	構成比
非常に不足している	1	2.7%
不足	2	5.4%
やや不足	8	21.6%
適正	25	67.6%
やや過剰	0	0.0%
過剰	1	2.7%
非常に過剰	0	0.0%
無回答	24	
計	37	100%

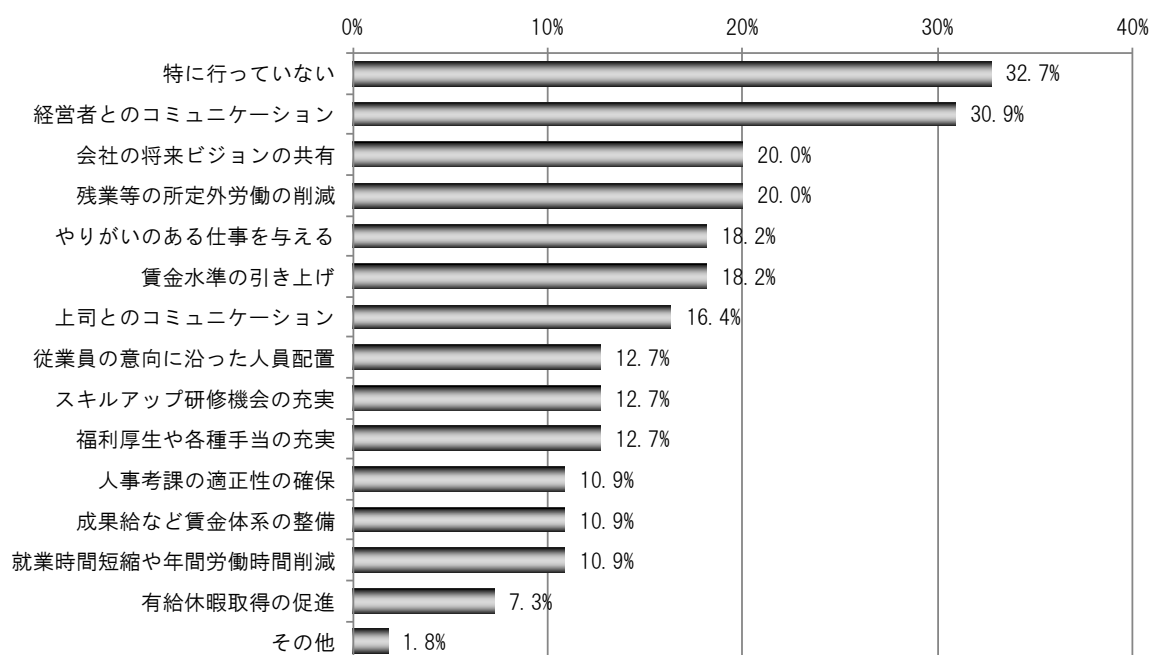


## 問8 人材の確保等への対策

【問8】人材の確保・定着の方法として行っている対策は何ですか。あてはまる番号全てに○をつけてください。

人材確保・定着への対策は、「特に行っていない」が32.7%と最も多く、次いで「経営者とのコミュニケーションを図る」が30.9%となっている。

問8 人材確保・定着への対策	事業所数	構成比
特に行っていない	18	32.7%
経営者とのコミュニケーションを図る	17	30.9%
会社の将来ビジョンの共有	11	20.0%
残業等の所定外労働の削減	11	20.0%
やりがいのある仕事やポジションを与える	10	18.2%
賃金水準の引き上げ	10	18.2%
上司や先輩とのコミュニケーションを図る	9	16.4%
従業員の意向に沿った人員配置	7	12.7%
教育・訓練等スキルアップ研修機会の整備・充実	7	12.7%
福利厚生や各種制度・手当の充実	7	12.7%
人事考課の適正性の確保・向上	6	10.9%
成果給など賃金体系の整備	6	10.9%
就業時間の短縮や年間労働時間の削減	6	10.9%
有給休暇取得の促進	4	7.3%
その他	1	1.8%
有効回答数	55	

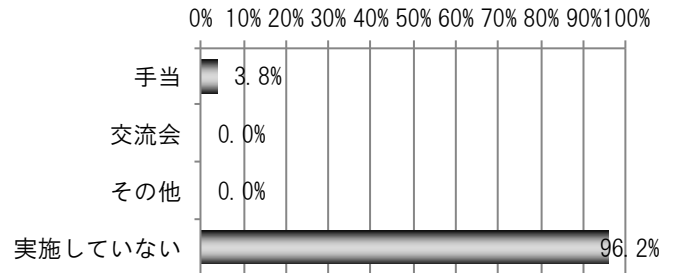


問9 結婚に対する支援の実施状況

【問9】貴社では、結婚支援としての手当や社内や社外との交流会などを実施していますか。実施している場合は、該当番号に○印をつけ、具体的な内容を記載してください。

結婚支援に対する支援の実施状況は「実施していない」が96.2%とほとんどを占めている。「手当」がわずか3.8%、「交流会」「その他」は0%となった。

問9 結婚支援の実施状況	事業所数	構成比
手当	2	3.8%
交流会	0	0.0%
その他	0	0.0%
実施していない	50	96.2%
有効回答数	52	

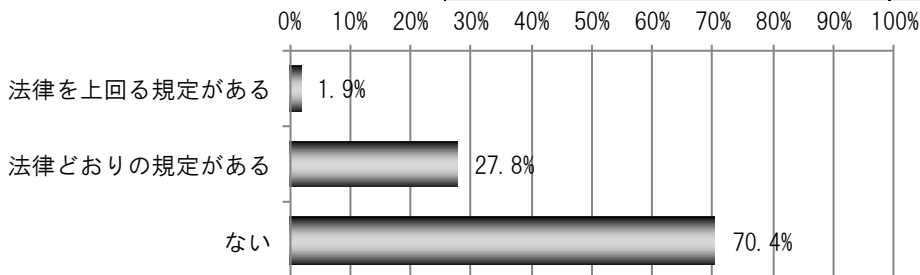


問10 育児休業制度の規定の有無

【問10】貴社において、育児・介護休業法に基づく育児休業制度の規定はありますか。あてはまる番号1つだけ○をつけてください。

育児休業制度の規定は、規定は「ない」が70.4%とほとんどを占め、「法律どおりの規定がある」は27.8%、「法律を上回る規定がある」は1.9%となった。

問10 育児休業制度の導入状況	事業所数	構成比
法律を上回る規定がある	1	1.9%
法律どおりの規定がある	15	27.8%
ない	38	70.4%
無回答	7	
計	54	100%

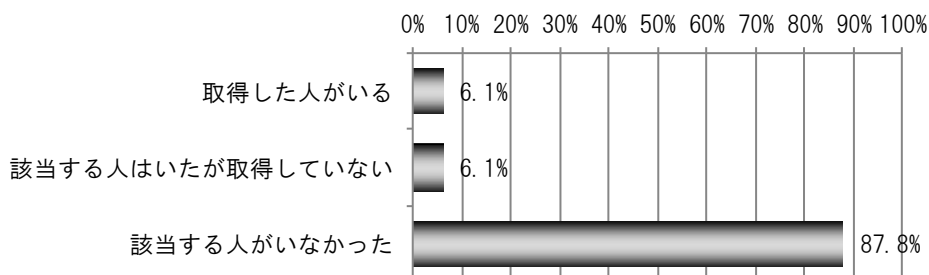


問11 育児休業制度取得実績

【問11】貴社では平成26年4月以降、育児休業制度を取得した人はいますか。あてはまる番号1つだけ○をつけてください。

育児休業制度の取得は、「該当する人がいなかった」が87.8%とほとんどを占め、「取得した人がいる」「該当する人はいたが取得していない」がともに6.1%となった。

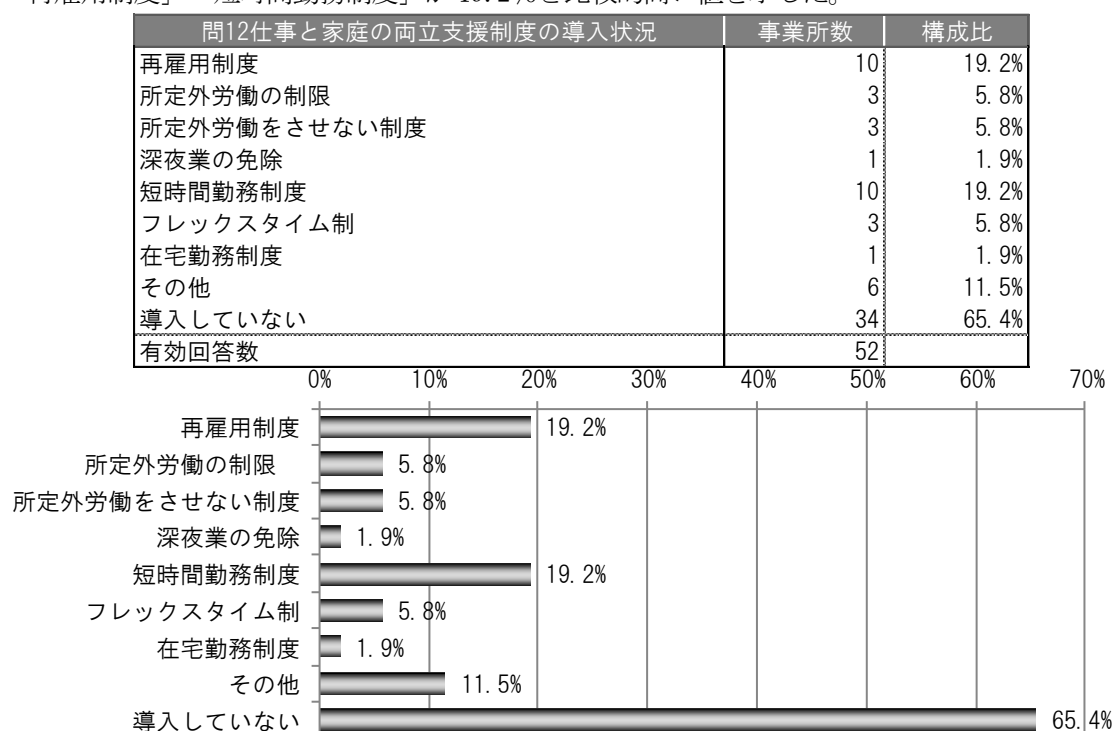
問11 育児休業の取得状況	事業所数	構成比
取得した人がいる	3	6.1%
該当する人はいたが取得していない	3	6.1%
該当する人がいなかった	43	87.8%
無回答	12	
計	49	100%



## 問12 仕事と家庭の両立支援制度の導入状況

【問12】貴社では育児休業制度のほかに仕事と家庭の両立支援制度として、どのような制度を導入していますか。あてはまる番号全てに○をつけてください。

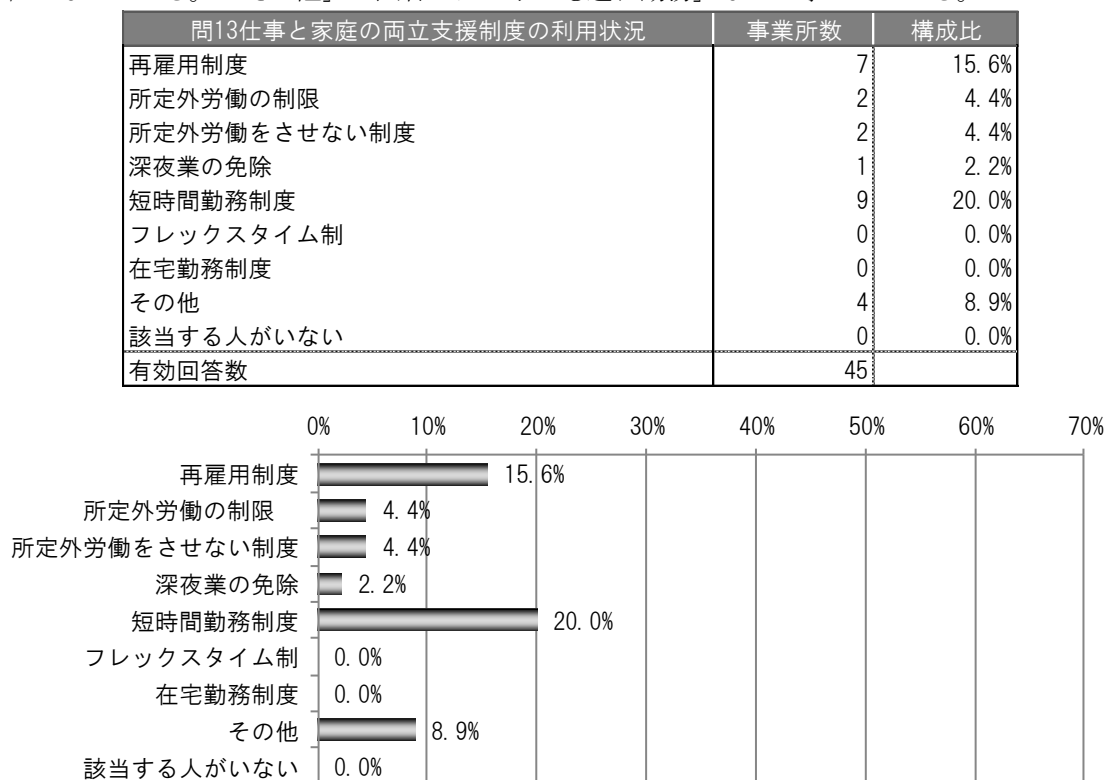
仕事と家庭の両立支援制度として、「導入していない」が65.4%と最も多い。導入している制度としては、「再雇用制度」「短時間勤務制度」が19.2%と比較的高い値を示した。



## 問13 仕事と家庭の両立支援制度の利用状況

【問13】また、その制度を利用した人はいますか。利用した人がいる制度の番号全てに○をつけてください。

制度の利用状況は、「短時間勤務制度」が20.0%と最も多く、次いで「再雇用制度」15.6%、「その他」8.9%となっている。「その他」の回答では「子ども連れ勤務」などが挙げられている。



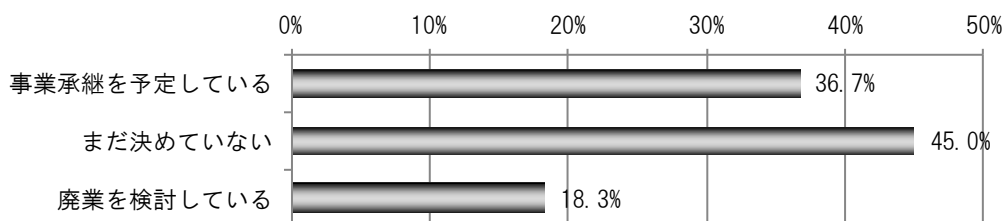


#### 問14 事業承継の予定の有無

【問14】今後貴社では、事業承継の予定がありますか。あてはまる番号1つだけ○をつけてください。

事業承継の予定は、「まだ決めていない（予定がない場合を含む）」が45.0%と最も多く、次いで「事業承継を予定している」が36.7%となっている。

問14事業承継の予定	事業所数	構成比
事業承継を予定している	22	36.7%
まだ決めていない（予定がない場合を含む）	27	45.0%
廃業を検討している	11	18.3%
無回答	1	
計	60	100%

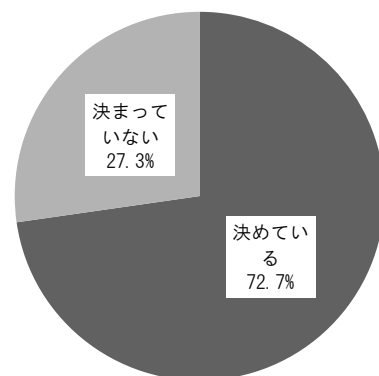


#### 問15 後継者の決定状況

【問15】問14で「1. 事業承継を予定している」と回答された方にお伺いします。後継者は決めていますか。あてはまる番号1つだけ○をつけてください。

後継者の決定は、「決めている、概ね決まっている」が72.7%と多くを占め、「決まっていない」が27.3%となっている。

問15後継者の有無(予定者のみ)	事業所数	構成比
決めている、概ね決まっている	16	72.7%
決まっていない	6	27.3%
無回答	0	
計	22	100%

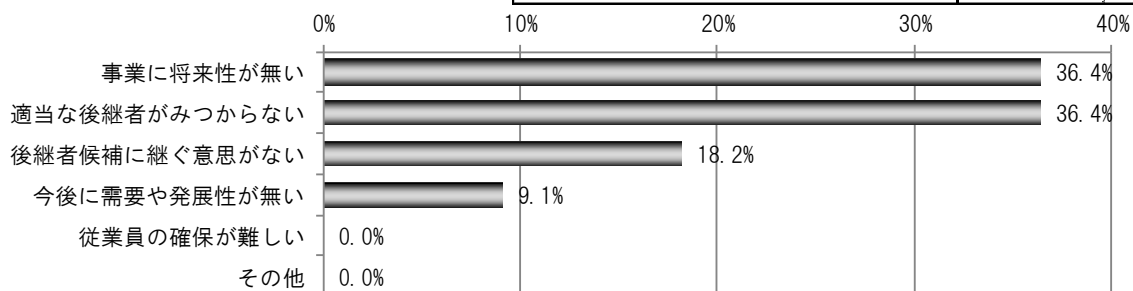


#### 問16 事業廃業の理由

【問16】問14で「3. 廃業を検討している」と回答された方にお伺いします。廃業を検討している理由として、あてはまる番号1つだけ○をつけてください。

廃業を検討している理由は、「事業に将来性が無い」「適当な後継者がみつからない」がともに36.4%と多くを占めている。

問16廃業の理由(検討者のみ)	事業所数	構成比
事業に将来性が無い	4	36.4%
適当な後継者がみつからない	4	36.4%
後継者候補に継ぐ意思がない	2	18.2%
今後の地域・社会に需要や発展性が無い	1	9.1%
従業員の確保が難しい	0	0.0%
その他	0	0.0%
計	11	100%

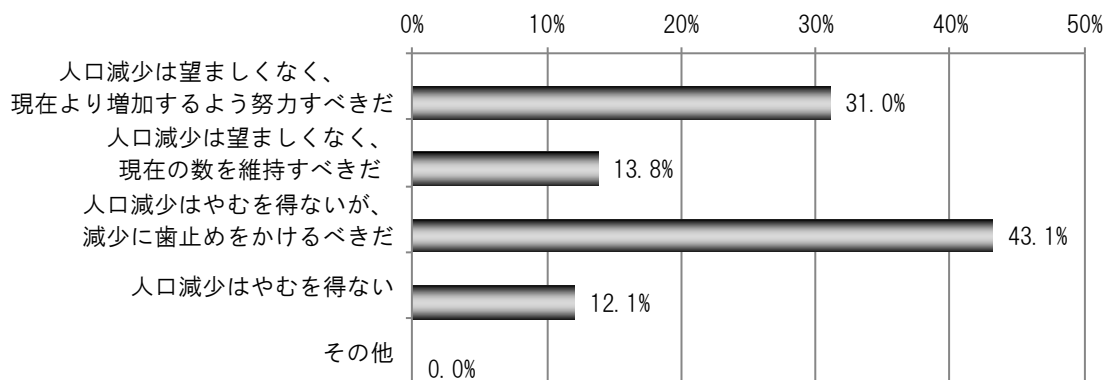


## 問17 人口減少への考え

【問17】中川村の人口は現在約5,000人ですが、平成52年(2040年:25年後)には約3,700人に減少すると公表されています(国立社会保障・人口問題研究所の推計)。中川村の人口が急激に減少していくことについて、あなたの考えに最も近い番号に1つだけ○印をつけてください。

人口減少への考えは、「人口減少はやむを得ないが、減少に歯止めをかけるべきだ」が43.1%と最も多く、次いで「人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだ」が31.0%を占めている。

問17人口減少への考え	事業所数	構成比
人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだ	18	31.0%
人口減少は望ましくなく、現在の数を維持すべきだ	8	13.8%
人口減少はやむを得ないが、減少に歯止めをかけるべきだ	25	43.1%
人口減少はやむを得ない	7	12.1%
その他	0	0.0%
無回答	3	
計	58	100%

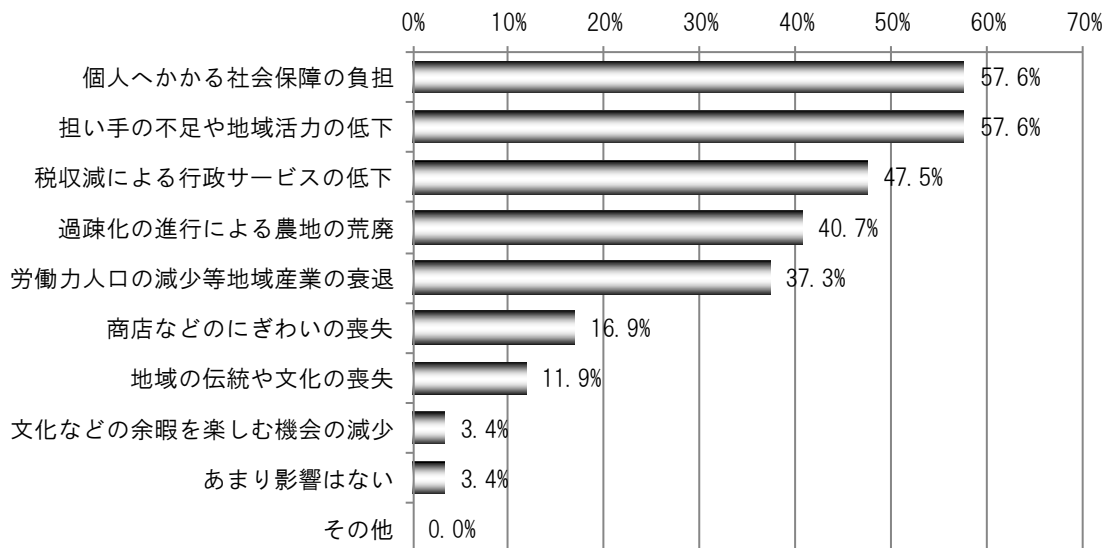


## 問18 人口減少による社会への影響

【問18】人口減少が進行していく場合に生じる社会へ与える影響について、影響が大きいと思われることは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

人口減少がもたらす社会への影響は、「社会保険料・医療費の増額、年金の減額等、個人へかかる社会保障の負担」「地域を支える担い手の不足や地域活力の低下」がともに57.6%を占めている。次いで「税収減による道路・上下水道及び教育・福祉等行政サービスの低下」が47.5%、「過疎化の進行による農地の荒廃、空き家の増加」が40.7%となっている。

問18人口減少に伴う社会的影響について	事業所数	構成比
社会保険料・医療費の増額、年金の減額等、個人へかかる社会保障の負担	34	57.6%
地域を支える担い手の不足や地域活力の低下	34	57.6%
税収減による道路・上下水道及び教育・福祉等行政サービスの低下	28	47.5%
過疎化の進行による農地の荒廃、空き家の増加	24	40.7%
労働力人口の減少等による地域産業の衰退	22	37.3%
需要・消費の減少等による、商店などのにぎわいの喪失	10	16.9%
地域の伝統や文化の喪失	7	11.9%
スポーツ、文化、娯楽などの余暇を楽しむ機会の減少	2	3.4%
あまり影響はない	2	3.4%
その他	0	0.0%
有効回答数	59	



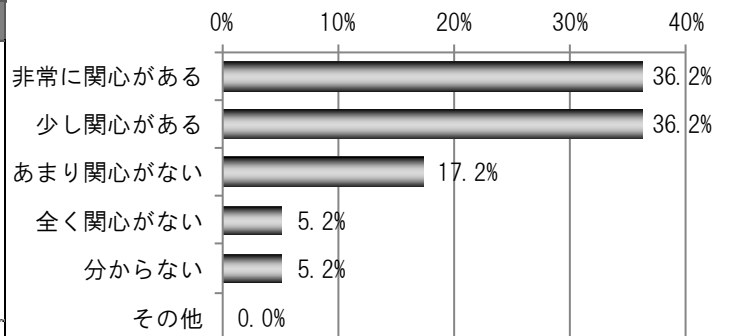
### 問19 地方創生への関心度・期待度

【問19】地方創生について、どの程度関心がありますか。また、どの程度期待していますか。当てはまる番号1つずつ○をつけてください。

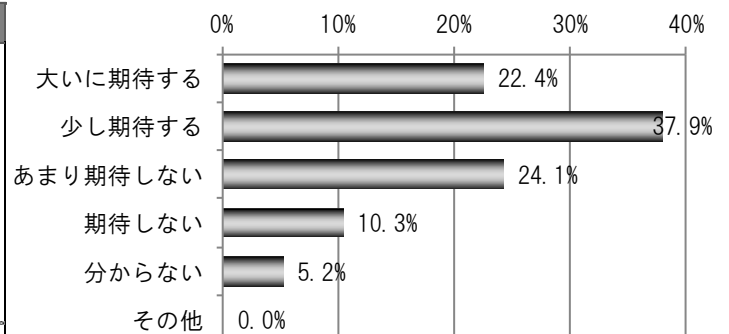
地方創生への関心度は、「非常に関心がある」「少し関心がある」がともに36.2%であり、両者を合わせると72.4%と、関心度が高いことがわかる。

地方創生への期待度は、「少し期待する」が37.9%と高く、「大いに期待する」22.4%を合わせると60.3%となる。「あまり期待しない」24.1%、「期待しない」10.3%を合わせると34.5%となり、関心度は高いものの期待度はやや劣っていることがわかる。

問19①地方創生への関心度	事業所数	構成比
非常に関心がある	21	36.2%
少し関心がある	21	36.2%
あまり関心がない	10	17.2%
全く関心がない	3	5.2%
分からない	3	5.2%
その他	0	0.0%
無回答	3	
計	58	100%



問19②地方創生への期待度	事業所数	構成比
大いに期待する	13	22.4%
少し期待する	22	37.9%
あまり期待しない	14	24.1%
期待しない	6	10.3%
分からない	3	5.2%
その他	0	0.0%
無回答	3	
計	58	100%



## 問20 地方創生に対する取り組み施策

【問20】地方創生において、中川村としてどのような施策が重要とお考えですか。あてはまる番号3つまで○をつけてください。

地方創生への取り組み施策として、「若者等への安定した雇用の創出」が53.3%、「地域における新たな視点からの産業の創出」が41.7%と多く、次いで「地域を支える既存産業の活性化による地域経済の拡大」「妊娠・出産・子育て支援の充実」がともに36.7%、「若い世代の経済的安定」が35.0%となっている。

問20地方創生への取り組み施策	事業所数	構成比
若者等への安定した雇用の創出	32	53.3%
地域における新たな視点からの産業の創出	25	41.7%
地域を支える既存産業の活性化による地域経済の拡大	22	36.7%
妊娠・出産・子育て支援の充実	22	36.7%
若い世代の経済的安定	21	35.0%
高齢者向け支援の充実	14	23.3%
就農者や地域活動への人材育成等担い手支援	13	21.7%
協働によるむらづくりの強化	8	13.3%
U・I・Jターンの推進	7	11.7%
その他	1	1.7%
有効回答数	60	

